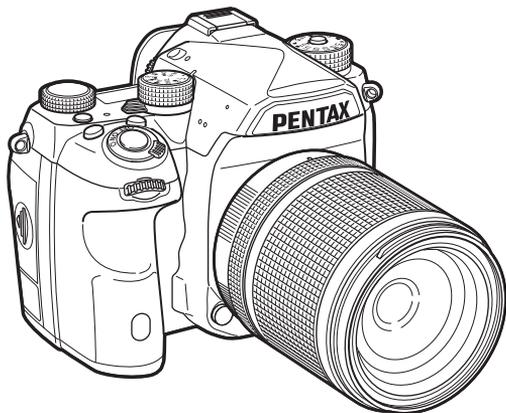


RICOH

デジタル一眼レフカメラ

PENTAX *K-1*

使用説明書



基礎知識 1

準備 2

撮影 3

再生 4

共有 5

設定 6

付録 7

カメラの正しい操作のために、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

同梱品を確認しましょう



ホットシューカバー Fk
(カメラ装着)



アイキャップ Fr
(カメラ装着)



MEファインダーキャップ



シンクロソケット2Pキャップ
(カメラ装着)



ボディマウントキャップ K II
(カメラ装着)



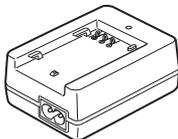
三角環・シキ防止カバー
(カメラ装着)



バッテリーグリップ接点カバー
(カメラ装着)



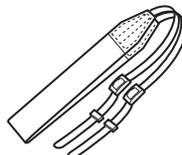
充電式リチウムイオン
バッテリー D-LI90P



バッテリー充電器
D-BC90P



ACコード
D-CO2J



ストラップ
O-ST162



ソフトウェア (CD-ROM)
S-SW162



使用説明書 (本書)



保証書

使用できるレンズ

本機で使用できるレンズは、D FA/DA/DA L/FA/FA Jまたは絞りA (オート) 位置のあるレンズです。それ以外のレンズやアクセサリーを使用するときは、本書のp.108を参照してください。

K-1の基礎知識

1

準備しましょう

2

いろいろな写真を撮影してみましょう

3

いろいろな再生と編集

4

画像を共有する

5

設定を変更する

6

付録

7

1

K-1の基礎知識 p.7

K-1の全体像を紹介しています。
まずここを読んでK-1を知ろう！

- 各部の名称と機能 p.7
- 撮影情報の表示 p.11
- 機能の設定方法 p.19
- メニュー一覧 p.22

2

準備しましょう p.32

K-1を使えるようにするための準備と基本操作を説明しています。

- ストラップの取り付け p.32
- レンズの取り付け p.32
- バッテリーのセット p.33
- メモリーカードのセット p.35
- 初期設定 p.36
- 撮影のキホン p.39
- 画像の確認 p.42

3

いろいろな写真を撮影してみましょう ..p.43

カメラが正しく動作することが確認できたら、
たくさん写真を撮ってみよう！

- 記録方法を設定する p.43
- 静止画を撮影する p.44
- 動画を撮影する p.47
- 露出を設定する p.49
- フォーカスモードを設定する p.51
- ドライブモードを設定する p.56
- ホワイトバランスを設定する p.63
- フラッシュを使用する p.65
- 仕上がりイメージを決めて撮影する p.66
- 補正して撮影する p.68
- GPSを利用する p.72

4

いろいろな再生と編集..... p.76

いろいろな再生方法と画像編集を説明しています。

- 再生モードパレットの設定項目 p.76
- 再生方法を変更する p.77
- 画像を加工・編集する p.81

5

画像を共有する p.87

パソコンや通信端末と接続してK-1を操作したり、画像を利用する方法を説明しています。

- パソコンで利用する p.87
- 通信端末で利用する p.88

6

設定を変更する p.98

その他の設定変更を掲載しています。

- カメラの設定 p.98
- 画像管理に関する設定 p.103

7

付録 p.107

資料を掲載しています。

- 特殊機能の組み合わせ制限 p.107
- 各種レンズ使用時の機能 p.108
- 外付けフラッシュ利用時の機能 p.111
- 困ったときは p.112
- 主な仕様 p.115
- 索引 p.122
- ご注意ください p.126
- 取り扱い上の注意 p.127
- アフターサービスについて p.130

本書の使い方 2

K-1 の基礎知識 7

各部の名称と機能 7

ボタン・ダイヤル・レバー 8

画像モニターの角度調節 10

撮影情報の表示 11

画像モニター 11

ファインダー 17

表示パネル 18

機能の設定方法 19

ダイレクトキーで設定する 19

スマートファンクションで設定する 19

コントロールパネルで設定する 20

メニューで設定する 21

メニュー一覧 22

撮影メニュー 22

動画メニュー 26

再生メニュー 27

詳細設定メニュー 28

カスタムメニュー 30

準備しましょう 32

ストラップの取り付け 32

レンズの取り付け 32

バッテリーのセット 33

バッテリーを充電する 33

バッテリーを入れる 34

ACアダプターを使用する 35

メモリーカードのセット 35

初期設定 36

電源を入れる 36

言語を設定する 36

日時を設定する 37

画面表示を設定する 38

メモリーカードをフォーマットする 38

撮影のキホン 39

ファインダーを使って撮影する 39

ライブビューで撮影する 40

画像の確認 42

いろいろな写真を撮影してみましょう 43

記録方法を設定する 43

メモリーカードの使用方法を設定する 43

静止画の記録設定 43

動画の記録設定 43

画角を設定する 43

静止画を撮影する 44

露出モード 44

露出補正 46

動画を撮影する 47

動画の再生 48

露出を設定する 49

ISO感度 49

測光方式 50

フォーカスモードを設定する 51

ファインダー撮影のAFモード 51

ライブビュー撮影のAFモード 53

AF位置を微調整する 54

被写界深度を確認する（プレビュー） 55

ドライブモードを設定する 56

連続撮影 57

セルフタイマー 57

リモコン 58

ブラケット撮影 59

ミラーアップ撮影 60

多重露出 60

インターバル撮影 61

ホワイトバランスを設定する	63	画像を共有する	87
マニュアルでホワイトバランスを調整する	64	パソコンで利用する	87
色温度でホワイトバランスを調整する	64	接続モードを設定する	87
フラッシュを使用する	65	メモリーカードの画像をコピーする	87
フラッシュを接続する	65	パソコンから本機を操作する	88
フラッシュモードを設定する	65	通信端末で利用する	88
仕上がりイメージを決めて撮影する	66	Wi-Fiを有効にする	88
カスタムイメージ	66	通信端末で操作する	89
デジタルフィルター	67	設定を変更する	98
補正して撮影する	68	カメラの設定	98
明るさを補正する	68	ボタン/ダイヤルをカスタマイズする	98
手ぶれを補正する	69	照明/ランプを設定する	100
レンズ特性を補正する	69	よく使う設定値を登録する	101
画質・質感を補正する	70	目的地の日時を表示する	102
構図を補正する	71	カメラに保存する設定を選択する	103
GPSを利用する	72	画像管理に関する設定	103
キャリブレーションを実行する	73	画像を消去できないようにする (プロテクト)	103
移動経路を記録する (GPSログ)	74	フォルダー/ファイルの設定	104
天体を撮影する (アストロトレーサー)	75	著作権情報の設定	106
いろいろな再生と編集	76	付録	107
再生モードパレットの設定項目	76	特殊機能の組み合わせ制限	107
再生方法を変更する	77	各種レンズ使用時の機能	108
複数画像を表示する	77	絞りリングの使用を許可する	109
フォルダーごとに表示する	78	キャッチインフォーカスで撮影する	110
撮影日ごとに表示する	78	レンズ焦点距離を入力する	110
連続して再生する (スライドショー)	79	外付けフラッシュ利用時の機能	111
画像を回転して表示する	79	困ったときは	112
AV機器と接続する	80	センサーのクリーニング	113
画像を加工・編集する	81	エラーメッセージ	114
画像をコピーする	81	主な仕様	115
画像のサイズを変更する	81	USB接続と付属ソフトウェアの動作環境	121
色モアレを補正する	82	索引	122
デジタルフィルターで加工する	83	ご注意ください	126
動画を編集する	84	取り扱い上の注意	127
RAW展開	85	アフターサービスについて	130

著作権について

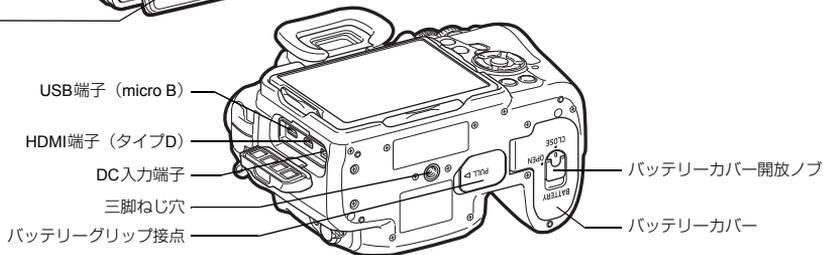
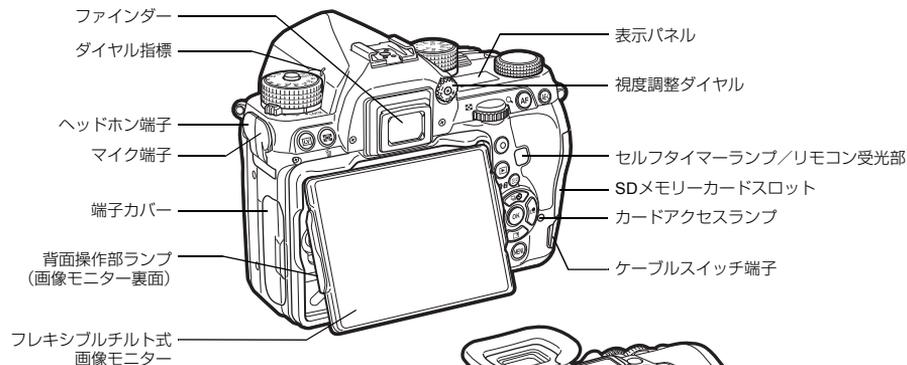
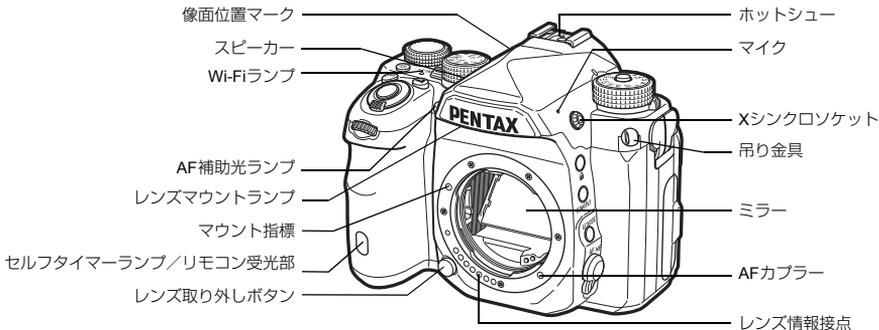
本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

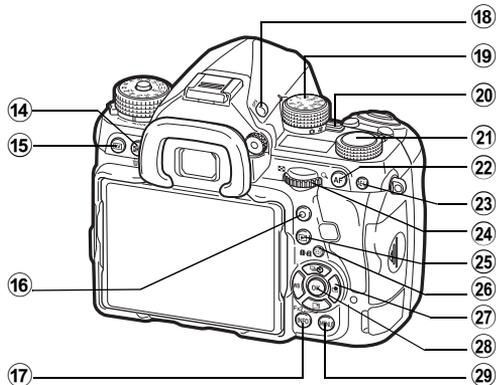
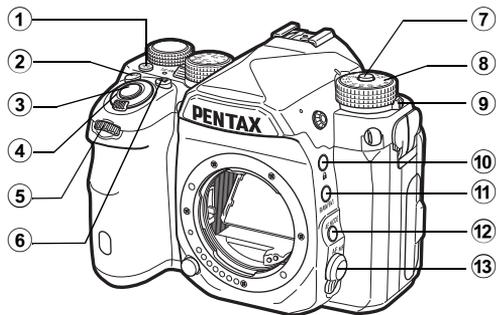
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

各部の名称と機能



ボタン・ダイヤル・レバー

1 基礎知識



① 照明ボタン (☀)

表示パネル/背面操作部ランプ/レンズマウントランプ/カードレリーズ端子ランプの照明を点灯します。どの照明を点灯させるかを設定できます。(p.100)

② ISOボタン (ISO)

ISO感度を変更するときに押します。(p.49)

③ シャッターボタン (SHUTTER)

画像を撮影します。(p.40)

再生モード時は、半押しで撮影モードに切り替わります。

④ 電源レバー

電源のON/OFFとプレビューを行います。(p.36、p.55)

⑤ 前電子ダイヤル (☀)

露出などの設定値を変更します。(p.45)

メニューが表示されているときは、メニューのカテゴリーを切り替えます。(p.21)

再生モード時は、画像を切り替えます。

⑥ 露出補正ボタン (±)

露出補正值を変更するときに押します。(p.46)

⑦ モードダイヤルロックボタン

モードダイヤルを回すときに押します。(p.39)

⑧ モードダイヤル

撮影モードを切り替えます。(p.44)

⑨ モードダイヤルロック解除レバー

モードダイヤルロックボタンを押さずにモードダイヤルを操作したいときに、ロックを解除できます。(p.41)

⑩ ロックボタン (🔒)

ダイヤルやボタンの操作を一時的に無効にして、撮影時の誤操作を防ぎます。(p.41)

⑪ RAW/Fx1ボタン (RAW)

機能を割り当てて使用します。(p.98)

⑫ AFモードボタン (AF)

AFモードまたは測距点を変更するときに押します。(p.51)

⑬ フォーカスモード切替レバー

フォーカスモードを切り替えます。(p.51)

⑭ 測光方式/消去ボタン (☀/🗑)

測光方式を変更するときに押します。(p.50)

再生モード時は、画像を消去します。(p.42)

⑮ ライブビューボタン (LV)

ライブビューを表示します。(p.40)

⑯ グリーンボタン (O)

設定中の値をリセットします。

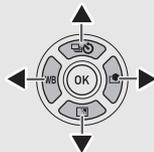
ISO感度設定中は、ISO AUTOに変更します。

- 17 **INFOボタン** (**INFO**)
画像モニターの表示を切り替えます。(p.11、p.15)
- 18 **GPSボタン** (**GPS**)
GPS機能のオン/オフを切り替えます。(p.72)
- 19 **機能ダイヤル**
スマートファクションで設定する機能を選択します。(p.19)
- 20 **静止画/動画切替レバー**
📷(静止画)モードと🎥(動画)モードを切り替えます。(p.39)
- 21 **設定ダイヤル**
機能ダイヤルで選択した機能の設定を変更します。
- 22 **AFボタン** (**AF**)
SHUTTER 半押し代わりにピントを合わせることができます。(p.51)
- 23 **AEロックボタン** (**AE-L**)
撮影前の露出値を記憶します。
再生モード時は、直前に撮影したJPEG画像のRAWファイルを追加保存できます。(p.42)
- 24 **後電子ダイヤル** (**⚙️**)
露出などの設定値を変更します。(p.45)
メニューが表示されているときは、ページを切り替えます。(p.21)
コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り替えます。(p.20)
再生モード時は、画像を拡大/複数画像表示します。(p.42、p.77)
- 25 **再生ボタン** (**▶**)
再生モードに切り替えます。(p.42) もう一度押すと撮影モードに切り替わります。
- 26 **測距点移動/カードスロット切替ボタン** (**⏪** / **⏩**)
測距点を移動できる状態にします。(p.52)
再生モード時は、画像を再生するメモリーカードスロットを切り替えます。(p.42)

- 27 **十字キー** (**▲▼◀▶**)
ドライブモード/ホワイトバランス/カスタムイメージの設定画面を呼び出します。(p.19)
メニュー/コントロールパネルが表示されているときは、カーソルの位置や項目を変更します。
▼はFx2ボタン (**Fx2**) として、機能を割り当てて使用します。(p.98)
再生モードの1画像表示で▼を押すと、再生モードパレットを表示します。(p.76)
- 28 **OKボタン** (**OK**)
メニュー/コントロールパネルが表示されているときに、選択した項目を決定します。
- 29 **MENUボタン** (**MENU**)
メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。(p.21)

十字キーについて

本書では、十字キーを右のように表記します。



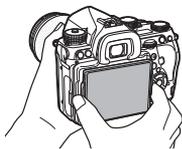
ランプの点灯

Wi-Fiランプ/ GPSランプ/ セルフタイマーランプ/ リモコン受光部のランプの点灯については、🔋2メニュー「インジケーター」で設定ができます。(p.100)

画像モニターの角度調節

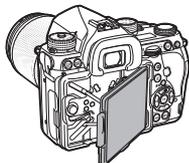
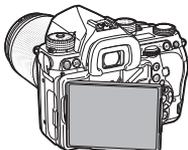
画像モニターは、上下左右に引き出して使用することができます。

- 1 片手でカメラを持ち、もう片方の手で画像モニターの両端を持って手前に引く



- 2 角度を調節する

上下方向に約44°、左右方向に約35°まで画像モニターが開く

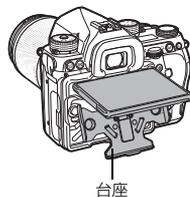


●注意

- 画像モニターに強い力を加えたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- カメラを持ち歩くときは、画像モニターを閉じてください。

●メモ

- 画像モニターは台座の上で可動します。図のように台座から上方向に引き上げて、ウェストレベルで撮影することもできます。
- 画像モニターを引き出したときは、を押して画像モニター裏面の照明を点灯させることができます。(初期設定：オフ) 2メニュー「照明設定」の「背面操作部」で設定を変更します。(p.100)
- 画像モニターは、台座に収納してから画像モニターの両側を押さえるようにして収納してください。



撮影情報の表示

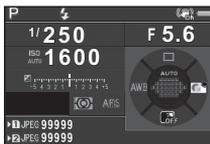
画像モニター

撮影時

本機での撮影は、ファインダーをのぞいて撮影する方法と、画像モニターを見ながら撮影する方法があります。

ファインダーを使った撮影では、画像モニターのステータススクリーンとファインダー内の表示を確認しながら撮影します。(p.39) ファインダーを使わない場合は、画像モニターにライブビュー画像を表示しながら撮影します。(p.40)

ステータススクリーンやライブビュー画像などが表示されていて、すぐに撮影が可能な状態を「撮影待機状態」といいます。撮影待機状態で **INFO** を押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。(p.20) コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。(p.14)



撮影待機状態
(ステータススクリーン)



コントロールパネル



INFO



撮影情報表示選択

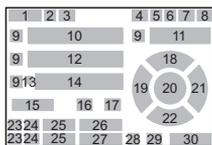
メモ

- ステータススクリーン／コントロールパネル／メニューカーソルの配色は、「初期設定」(p.36) で変更ができます。

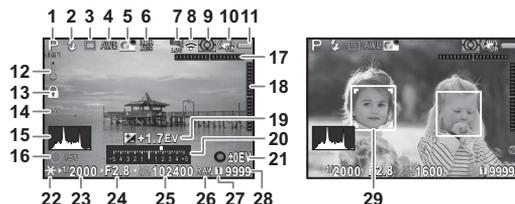
画像モニターの明るさ調節

屋外などで撮影するときに画像モニターの表示が見にくい場合は、**MENU**メニュー「アウトドアモニター」で明るさを調節することができます。また、**Fx1** / **Fx2**に「アウトドアモニター」を割り当てると、ボタンの操作で画像モニターの明るさを切り替えることができます。(p.98) 初期設定では、**Fx2** (▼)に「アウトドアモニター」が割り当てられています。





- 1 撮影モード (p.44)
- 2 AEロック
- 3 フラッシュモード (p.65)
- 4 明瞭コントロール (p.70) / 肌色補正 (p.70) / デジタルフィルター (p.67) / HDR撮影 (p.68) / Real Resolution (p.70)
- 5 GPS測位状態 (p.72)
- 6 無線LAN通信状態 (p.88)
- 7 Shake Reduction (p.69) / 自動水平補正
- 8 バッテリー残量
- 9 電子ダイヤル操作ガイド
- 10 シャッター速度
- 11 絞り値
- 12 ISO感度 (p.49)
- 13 露出補正 (p.46) / ブラケット撮影 (p.59)
- 14 露出バー
- 15 スマートファンクション操作ガイド (p.19)
- 16 測光方式 (p.50)
- 17 フォーカスマード (p.51)
- 18 ドライブモード (p.56)
- 19 ホワイトバランス (p.63)
- 20 測距点 (p.52)
- 21 カスタムイメージ (p.66)
- 22 操作ガイド (p.98)
- 23 メモリーカードスロット
- 24 記録形式 (p.43)
- 25 撮影可能枚数
- 26 フラッシュ光量補正 (p.65)
- 27 ホワイトバランス微調整 (p.63)
- 28 キー操作ロック (p.41)
- 29 コーパスセクター (p.71)
- 30 多重露出/インターバル撮影撮影回数



- 1 撮影モード (p.44)
- 2 フラッシュモード (p.65)
- 3 ドライブモード (p.56)
- 4 ホワイトバランス (p.63)
- 5 カスタムイメージ (p.66)
- 6 明瞭コントロール (p.70) / 肌色補正 (p.70) / デジタルフィルター (p.67) / HDR撮影 (p.68) / Real Resolution (p.70)
- 7 GPS測位状態 (p.72)
- 8 無線LAN通信状態 (p.88)
- 9 測光方式 (p.50)
- 10 Shake Reduction (p.69) / 自動水平補正 / Movie SR
- 11 バッテリー残量
- 12 温度警告
- 13 キー操作ロック (p.41)
- 14 クロップ (p.43)
- 15 ヒストグラム
- 16 スマートファンクション操作ガイド (p.19)
- 17 電子水準器 (左右の傾き) (p.18)
- 18 電子水準器 (前後の傾き) (p.18)
- 19 露出補正 (p.46)
- 20 露出バー
- 21 操作ガイド
- 22 AEロック
- 23 シャッター速度
- 24 絞り値
- 25 ISO感度 (p.49)
- 26 記録形式 (p.43)
- 27 メモリーカードスロット
- 28 撮影可能枚数
- 29 コントラストAF「顔検出」の顔検出枠 (p.53)

メモ

- 5 / 2メニュー「ライブビュー表示」で、ライブビューの表示の設定ができます。(p.24、p.26)
- スマートファンクションで、ライブビューにグリッドを表示することができます。(p.19)

コントロールパネル

初期設定では、以下の機能が表示されます。

📷モード



	1		3	4
	2		3	4
5	6	7	8	9
10	11	12	13	14
15	16	17	18	19
20	21	22	23	24
	31	32	33	

📷モード



	1		3	4
	2		3	4
25	26	24	6	7
12	19	27	28	29
20	21	23	30	
	31	32	33	

- 機能名称
- 設定
- メモリーカードスロット
- 撮影可能枚数/記録可能時間
- 感度AUTO (上限) (p.49)
- ハイライト補正 (p.68)
- シャドウ補正 (p.68)
- 長秒時NR (p.45)
- 高感度NR (p.49)
- 明瞭コントロール (p.70)
- 肌色補正 (p.70)
- デジタルフィルター (p.67)
- HDR撮影 (p.68)
- Real Resolution (p.70)
- ディストーション補正 (p.69)
- 周辺光量補正 (p.69)
- アストロトレーサー (p.75)
- ローパスセクター (p.71)
- Shake Reduction (p.69) / Movie SR
- カードスロット設定 (p.43)
- クロップ (p.43)
- 記録形式 (p.43)
- JPEG記録サイズ (p.43) / 動画記録サイズ (p.43)
- AF補助投光 (p.51)
- コントラストAF (p.53)
- フォーカスアシスト (p.54)
- 録音レベル (p.47)
- 風切音低減 (p.47)
- 再生音量
- フレームレート (p.43)

- 現在の日時
- 目的地 (p.102)

- カスタマイズ操作ガイド (p.20)

🔍メモ

- コントロールパネルの使い方は、「コントロールパネルで設定する」(p.20)を参照してください。
- コントロールパネルに表示する機能は、カスタマイズができます。(p.20)

撮影情報表示選択

コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。◀▶で選択して **OK** を押します。



ファインダー撮影時

ステータス スクリーン	ファインダー撮影時の設定を表示 (p.12)	
電子水準器	カメラの傾きを表示 中央に左右方向、 右側に上下方向の 傾きを表示。傾き がグラフの表示範 囲を超えたときは、 赤で表示	<p>(例) 左1.5° (黄) 上下傾きなし (緑)</p>
画像モニター オフ	画像モニターを非表示	
電子コンパス	GPSをオンにし、 現在地の緯度・経 度・高度とカメラ の向き (方位)、協 定世界時、撮影 モードなどを表示	

ライブビュー撮影時

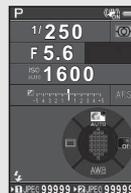
標準情報表示	画像とライブビュー撮影時の設定を表示 (p.12)
電子水準器	「標準情報表示」に電子水準器を表示
情報表示なし	撮影モードやドライブモードなど、一部のアイコンを非表示

メモ

- 電源を入れ直すと、「撮影情報表示選択」で選択した画面から表示されます。

カメラを縦に構えたとき

カメラを縦位置に構えると、ステータススクリーンの表示も縦になります。縦画面を表示したくない場合は、**5**メニュー「その他の表示」の「ステータス自動回転」をオフに設定します。(p.25)



再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示されます。

INFO を押すと、1画像表示の表示情報を変更できます。◀▶で選択して **OK** を押します。



1画像表示
(標準情報表示)

再生情報表示選択

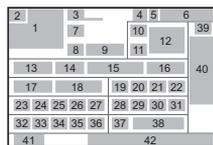
標準情報表示	画像・記録形式・露出値・操作ガイドを表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示 (p.15)
ヒストグラム表示	画像と輝度ヒストグラムを表示 (p.16) 動画のときは選択不可
RGBヒストグラム表示	画像とRGBヒストグラムを表示 (p.16) 動画のときは選択不可
情報表示なし	画像だけを表示

●メモ

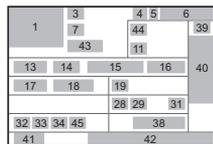
- 標準情報表示/ヒストグラム表示のときに、白とび部分を赤で点滅表示することができます。☑1メニュー「画像表示」の「白とび警告」で設定します。
- 電源を入れ直して再生モードにすると、「再生情報表示選択」で選択した画面が表示されます。📷5メニュー「モードメモリ」の「再生情報表示」をオフに設定すると、電源を入れ直したときに「標準情報表示」から表示されます。(p.103)

詳細情報表示

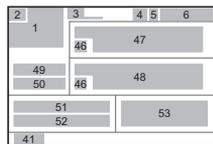
静止画



動画



2ページ目



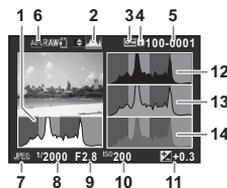
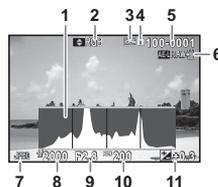
- 1 撮影画像
- 2 回転情報 (p.79)
- 3 撮影モード (p.44)
- 4 プロテクト (p.103)
- 5 再生メモリーカードスロット
- 6 フォルダー No.- ファイルNo. (p.104)
- 7 ドライブモード (p.56)
- 8 フラッシュモード (p.65)
- 9 フラッシュ光量補正 (p.65)
- 10 フォーカスモード (p.51)
- 11 測光方式 (p.50)
- 12 測距点 (p.52)
- 13 シャッター速度
- 14 絞り値
- 15 ISO感度 (p.49)
- 16 露出補正 (p.46)
- 17 ホワイトバランス (p.63)
- 18 ホワイトバランス微調整 (p.63)

- 19 デジタルフィルター (p.67)
- 20 HDR撮影 (p.68) / Real Resolution (p.70)
- 21 明瞭コントロール (p.70)
- 22 肌色補正 (p.70)
- 23 ディストーション補正 (p.69)
- 24 周辺光量補正 (p.69)
- 25 倍率色収差補正 (p.69)
- 26 回折補正 (p.69)
- 27 フリンジ補正 (p.86)
- 28 ハイライト補正 (p.68)
- 29 シャドー補正 (p.68)
- 30 ローパスセクター (p.71)
- 31 Shake Reduction (p.69) / 自動水平補正 / Movie SR
- 32 クロップ (p.43)
- 33 記録形式 (p.43)
- 34 JPEG記録サイズ (p.43) / 動画記録サイズ (p.43)
- 35 JPEG画質 (p.43)
- 36 色空間 (p.43)
- 37 色モアレ補正 (p.82)
- 38 レンズ焦点距離
- 39 画像仕上 (p.66)
- 40 カスタムイメージパラメーター
- 41 操作ガイド
- 42 撮影日時
- 43 記録時間
- 44 録音レベル (p.47)
- 45 フレームレート (p.43)
- 46 情報改ざん警告
- 47 撮影者名 (p.106)
- 48 著作権者名 (p.106)
- 49 高度
- 50 方位
- 51 緯度
- 52 経度
- 53 協定世界時

ヒストグラム表示

▲▼で輝度ヒストグラムとRGBヒストグラムが切り替えられます。

輝度ヒストグラム

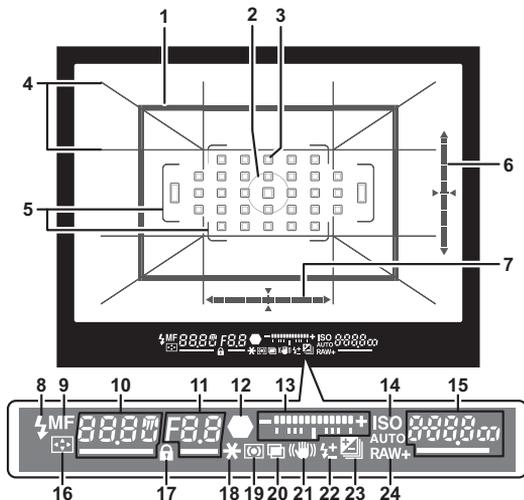


RGBヒストグラム

- 1 ヒストグラム (輝度)
- 2 RGBヒストグラム / 輝度ヒストグラム切り替えプロテクト
- 3 再生メモリーカードスロット
- 4 フォルダ No.-ファイル No.
- 5 バッファ RAW保存可能
- 6 記録形式
- 7 シャッター速度
- 8 絞り値
- 9 ISO感度
- 10 露出補正
- 11 ヒストグラム (R)
- 12 ヒストグラム (G)
- 13 ヒストグラム (B)

ファインダー

ファインダー撮影時は、ファインダー内に情報が表示されます。

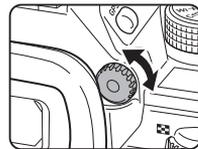


- | | |
|------------------------|---|
| 1 クロップ枠 (p.43) | 10 シャッター速度/長秒時NR残り処理時間 (p.45) / AFモード (p.51) / ブラケット撮影枚数 (p.59) |
| 2 スポット測光フレーム (p.50) | 11 絞り値/ブラケット幅 (p.59) |
| 3 測距点 (p.52) | 12 合焦マーク |
| 4 グリッド表示 | 13 露出バー |
| 5 AFフレーム (p.40) | 14 ISO/ISO AUTO |
| 6 電子水準器 (前後の傾き) (p.18) | |
| 7 電子水準器 (左右の傾き) (p.18) | |
| 8 フラッシュマーク | |
| 9 フォーカスモード (p.51) | |

- | | |
|---|---------------------------------|
| 15 ISO感度 (p.49) / 露出補正値/撮影可能枚数/測距点 (p.52) | 16 測距点移動 (p.52) |
| ⌘-33 オート (33点) | 17 キー操作ロック (p.41) |
| ⌘-9 ゾーンセレクト | 18 AEロック |
| ⌘i1 セレクト | 19 測光方式 (p.50) |
| ⌘i2 セレクトエリア拡大 (S) | 20 多重露出 (p.60) |
| ⌘i3 セレクトエリア拡大 (M) | 21 Shake Reduction (p.69) |
| ⌘i4 セレクトエリア拡大 (L) | 22 フラッシュ光量補正 (p.65) |
| ⌘Spot スポット | 23 露出補正 (p.46) / ブラケット撮影 (p.59) |
| | 24 記録形式 (p.43) |

メモ

- ファインダー内の表示は、**SHUTTER** 半押し時と、測光作動時間 (初期設定: 10秒) に表示されます。
- SHUTTER** を半押しにすると、オートフォーカスに使われた測距点が強調表示されます。
- ファインダー内の見え方は、視度調整ダイヤルで調節できます。
- ☑5 メニュー「ファインダー内表示」で、グリッド表示/電子水準器/AFフレーム/スポット測光フレーム/測距点の表示のオン/オフが設定できます。(p.24)
- ファインダー内の照明は、暗い場所で合焦時と測距点移動時に点灯します。点灯方法を変更するときは、**C2**メニュー「9 ファインダー内照明」で設定します。(p.30)



電子水準器

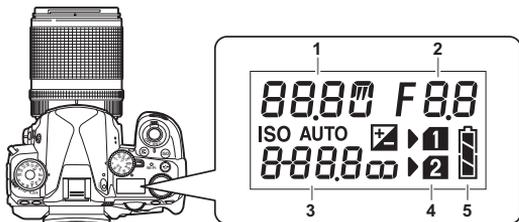
カメラの傾きを電子水準器表示で確認できます。ファインダー内とライブビュー画面に前後・左右方向の電子水準器が表示できます。(p.12)

電子水準器を表示するかどうかは、**5**メニューのファインダー内表示/ライブビュー表示で設定します。(p.24)

メモ

- **[X1]**/**[X2]**に「電子水準器」を割り当てると、ボタンの操作で表示のオン/オフを切り替えることができます。(p.98)

表示パネル



- | | |
|--|--|
| <p>1 シャッター速度/ブラケット撮影枚数 (p.59)
/USB接続モード (p.87) /センサークリーニング中 (p.113)</p> <p>2 絞り値/ブラケット幅 (p.59)</p> | <p>3 ISO感度 (p.49) /露出補正 (p.46)</p> <p>4 メモリーカードスロット</p> <p>5 バッテリー残量</p> |
|--|--|

メモ

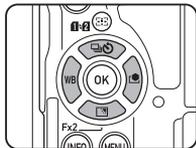
- 表示パネルの照明は、**[LAMP]**を押すと点灯します。
[LAMP]を押したときの明るさは、**2**メニューの「照明設定」で設定できます。(p.100)

機能の設定方法

ダイレクトキーで設定する

撮影待機状態で▲▼◀▶を押します。

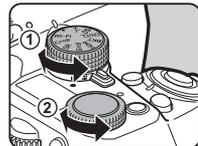
▲	ドライブモード	p.56
▼	Fx2ボタン	p.98
◀	ホワイトバランス	p.63
▶	カスタムイメージ	p.66



▼はFx2ボタン (F_{x2}) として、機能を割り当てて使用します。初期設定では、「アウトドアモニター」が割り当てられています。(p.11)

スマートファンクションで設定する

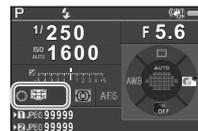
機能ダイヤル (①) で機能を選択し、設定ダイヤル (②) で値を変更します。2つのダイヤルを使って、簡単に設定が変更できます。



以下の機能が設定できます。

機能ダイヤル	機能	参照
●	無効	p.40
+/-	露出補正值変更	p.46
ISO	ISO感度変更	p.49
CH/CL	連続撮影の速度 / 1コマ撮影切り替え	p.57
BKT	ブラケット撮影のブラケット幅変更	p.59
HDR	HDR撮影のタイプ変更	p.68
Grid	(ファインダー撮影時) ファインダー内グリッドのオン/オフ切り替え (ライブビュー撮影時) ライブビューグリッドの種類変更	p.24
SR	Shake Reduction / Movie SRのオン/オフ切り替え	p.69
Crop	クロップ切り替え	p.43
Wi-Fi	Wi-Fiのオン/オフ切り替え	p.89

ステータススクリーン / ライブビューには、スマートファンクションの操作ガイドが表示されます。



コントロールパネルで設定する

撮影待機状態で **INFO** を押します。



メモ

- カメラの設定状況によって、選択できる項目が異なります。
- コントロールパネルは何も操作しないと、約1分後に撮影待機状態に戻ります。

コントロールパネルをカスタマイズする

コントロールパネルに表示する機能は、カスタマイズができます。

- 1 撮影待機状態で **INFO** を押す
コントロールパネルが表示
- 2 **☺** を押す
カスタマイズ画面が表示
- 3 ▲▼◀▶ で変更するパネルを選択
○で登録内容リセット



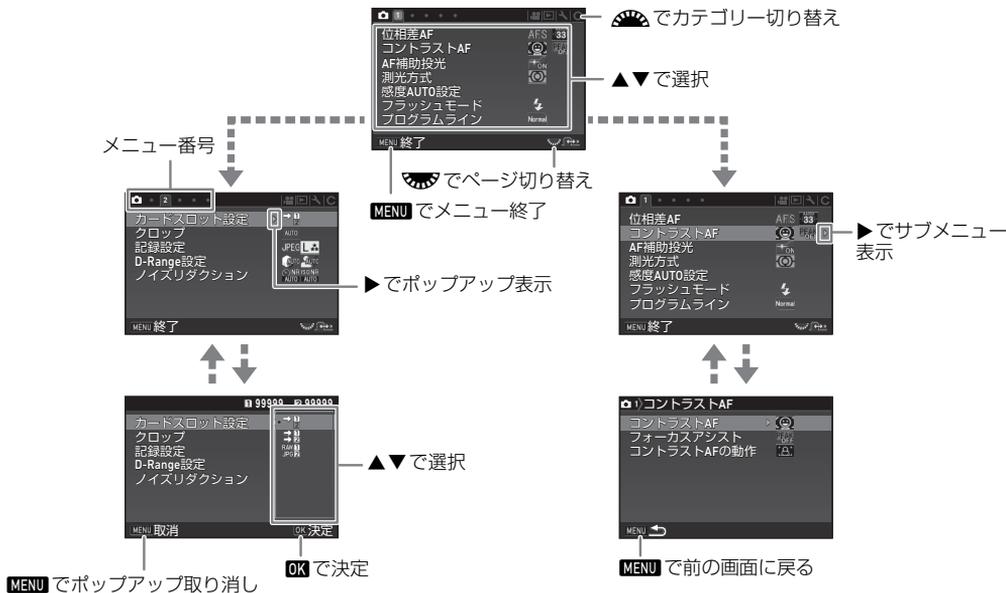
- 4 **OK** を押す
機能がポップアップ表示
- 5 ▲▼で登録する機能を選択
「-」は未登録



- 6 **OK** を押す
手順3の画面に戻る
- 7 **☺** を押す
コントロールパネルに戻る
- 8 **MENU** を押す
撮影待機状態に戻る

メニューで設定する

ほとんどの機能はメニューで設定します。



メモ

- **C1**~**4**メニューは、サブメニューが表示されている状態で☰を操作すると、次の項目の設定画面に切り替えることができます。
- **MENU** を押すと、そのときの状態に応じたメニューの先頭ページが表示されます。直前に操作した画面から表示したいときは、**C4**メニュー「23メニュー選択の記憶」で設定します。
- ダイレクトキー/スマートファンクション/コントロールパネル/メニューで設定した値は、**4**メニュー「リセット」で初期設定に戻ります。**C1**~**4**メニューは、**C4**メニュー「カスタムのリセット」で初期設定に戻ります。(一部の機能を除く)

撮影メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
☑1	位相差AF	AFモード *1	ファインダー撮影時のオートフォーカスの方法を選択	A.F.S	p.51
		測距点切替 *1	ファインダー撮影時のピント合わせの位置を選択	オート (33点)	p.52
		AF.Sの動作	AFモード A.F.S で SHUTTER を全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	p.53
		AF.C 1コマ目の動作	AFモード A.F.C で SHUTTER を全押ししたときの1コマ目の優先動作を設定	オート	p.53
		AF.C連続撮影中の動作	AFモード A.F.C で連続撮影中の優先動作を設定	オート	p.53
		AFホールド	合焦後に被写体が動いて見失ったときに、一定時間フォーカスを保持	弱	p.53
	コントラストAF	コントラストAF *1	ライブビュー撮影時のAFモードを設定	顔検出	p.53
		フォーカスアシスト *1	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ	p.54
		コントラストAFの動作	SHUTTER を全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	p.54
	AF補助投光 *1	暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン	p.51	
	測光方式 *1	センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるかを設定	分割	p.50	
	感度AUTO設定 *1	ISO AUTOの自動調整範囲と感度アップポイントを設定	ISO 100～ISO 3200 / 標準	p.49	
	フラッシュモード *1	フラッシュモードを設定	強制発光 または自動発光	p.65	
	プログラムライン *1	プログラムラインを選択	標準	p.46	
	露出モード *2	露出モード	U1～U5 モード時の露出モードを一時的に変更	P	p.102
プログラムライン		U1～U5 モード時のプログラムラインを選択	標準		

メニュー	項目	機能	初期設定	参照	
📷2	カードスロット設定 *1	メモリーカードを2枚セットした場合の記録方法を設定	順次	p.43	
	クロップ *1	撮影時の画角を設定	オート	p.43	
	記録設定	記録形式 *1	ファイル形式を設定	JPEG	p.43
		JPEG記録サイズ *1	JPEGの記録サイズを設定	L	
		JPEG画質 *1	JPEGの画質を設定	★★★	
		RAWファイル形式	RAWのファイル形式を選択	PEF	
		色空間	使用する色空間を設定	sRGB	
	D-Range 設定	ハイライト補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート	p.68
		シャドウ補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート	
	ノイズリ ダクシ ョン	長秒時NR *1	低速シャッター時のノイズリダクションを設定	オート	p.45
高感度NR *1		高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート	p.49	
📷3	明瞭コントロール *1	画像処理で明瞭感を変更	±0	p.70	
	肌色補正 *1	画像処理で肌質感を向上	オフ	p.70	
	デジタルフィルター *1	フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.67	
	HDR撮影 *1	ハイダイナミックレンジ撮影を設定	オフ/±2EV/ オン	p.68	
	Real Resolution *1	1画素ずつずらした4枚の画像を合成し、高精細な画像を取得	オフ	p.70	
	アストロトレーサー *1	天体追尾撮影を設定	オフ	p.75	

メニュー	項目	機能	初期設定	参照	
📷4	ローパスセクター *1	Shake Reductionユニットを利用して、ローパスフィルター効果をかける	オフ	p.71	
	Shake Reduction *1	手ぶれ補正機能を設定	オン	p.69	
	自動水平補正 *1	📷モード時の左右の傾きを補正	オフ	-	
	構図微調整 *1	Shake Reductionユニットを利用して、構図の位置と傾きを補正	オフ	p.71	
	レンズ補正	ディストーション補正 *1	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正	オフ	p.69
		周辺光量補正 *1	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正	オフ	
		倍率色収差補正 *1	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正	オン	
回折補正 *1		絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正	オン		
焦点距離入力 *1	レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用している場合に設定	35mm	p.110		
📷5	ファインダー内表示	グリッド表示 *1	ファインダー内にグリッドを表示	オン	p.17
		電子水準器 *1	ファインダー内に電子水準器を表示	オン	
		AFフレーム	ファインダー内にAFフレームを表示	オン	
		スポット測光フレーム	ファインダー内にスポット測光フレームを表示	オン	
		測距点	ファインダー内に測距点を表示	オン	
	ライブビュー表示	グリッド表示 *1	ライブビューのグリッドの種類と色を設定	オフ/黒	p.12
		電子水準器 *1	ライブビューに電子水準器を表示	オン	
		ヒストグラム表示	ライブビューにヒストグラムを表示	オフ	
		白とび警告	ライブビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
		フリッカー低減	電源周波数を設定し、ライブビューのちらつきを低減	50Hz	
	クイックビュー表示	表示時間	クイックビューの表示時間を設定	1秒	p.40
		拡大表示	クイックビューで拡大表示	オン	
		RAW追加保存	クイックビューでRAW画像を追加保存	オン	
		消去	クイックビューで画像を消去	オン	
		ヒストグラム表示	クイックビューにヒストグラムを表示	オフ	
白とび警告		クイックビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ		

メニュー	項目		機能	初期設定	参照	
カメラ	その他の表示	ガイド表示	撮影モードを変更したときに、ガイド表示を表示	オン	p.40	
		ステータス自動回転	カメラを縦位置にしたときに、ステータススクリーンを縦表示	オン	p.14	
		配色	ステータススクリーン／コントロールパネル／メニューカーソルの配色を設定	1	p.38	
	ボタンカスタマイズ	Fx1ボタン	Fx1 の動作を設定	ワンタッチRAW+	p.98	
		Fx2ボタン	Fx2 (▼)の動作を設定	アウトドアモニター		
		AFボタン	AF の動作を設定	AF作動1		
		プレビューレバー	電源レバー  位置の動作を設定	光学プレビュー	p.55	
		電子ダイヤル	P Sv Tv Av TAv M B X	露出モード別に  /  /  の動作を設定	Tv / Av /  P	p.99
					-- / ISO / --	
					Tv / -- / --	
					-- / Av / --	
					Tv / Av / P LINE	
					Tv / Av / P LINE	
					-- / Av / --	
					-- / Av / --	
		回転方向設定	 /  を操作したときの値の変化	順方向		
		モードメモリ		電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	明瞭コントロール／肌色補正／デジタルフィルター／HDR撮影／Real Resolution／アウトドアモニター以外オン	p.103
USERモード登録		よく使用する撮影設定をモードダイヤルU1～U5に登録	—	p.101		

*1 コントロールパネル登録可

*2 モードダイヤルがU1～U5のときのみ表示

動画メニュー

1 基礎知識

メニュー	項目	機能	初期設定	参照	
1	コントラストAF	コントラストAF *1	AFモードを設定	顔検出	p.53
		フォーカスアシスト *1	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ	p.54
	AF補助投光 *1	暗い場所でオートフォーカスするとき補助光を発光	オン	p.51	
	測光方式 *1	センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定	分割	p.50	
	カードスロット設定 *1	動画を記録するメモリーカードスロットを選択	SD1	p.43	
	クロップ *1	撮影時の画角を設定	オート	p.43	
	記録設定	記録サイズ *1	記録サイズを設定	FullHD	p.43
		フレームレート *1	フレームレートを設定	30p	
	音量設定	録音レベル *1	記録時の録音レベルを設定	オート	p.47
		風切音低減 *1	風切り音を低減	オフ	
ヘッドホン音量 *1		ヘッドホン接続時の音量を設定	10		
2	D-Range設定	ハイライト補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート	p.68
		シャドウ補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート	
	デジタルフィルター *1	フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.67	
	Movie SR *1	手ぶれ補正機能を設定	オン	-	
	ライブビュー表示	グリッド表示 *1	ライブビューのグリッドの種類と色を設定	オフ/黒	p.12
		電子水準器 *1	ライブビューに電子水準器を表示	オン	
ヒストグラム表示		ライブビューにヒストグラムを表示	オフ		
白とび警告		ライブビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ		
フリッカー低減		電源周波数を設定し、ライブビューのちらつきを低減	50Hz		

メニュー	項目		機能	初期設定	参照	
2	ボタンカスタマイズ	AFボタン (動画)	AFの動作を設定	AF作動1	p.98	
		電子ダイヤル		露出モード別に  /  /  の動作を設定	--/--/--	p.99
					Tv/--/PLINE	
					--/Av/PLINE	
					Tv/Av/PLINE	
					Tv/Av/PLINE	
回転方向設定	 / 	を操作したときの値の変化	順方向			

*1 コントロールパネル登録可

再生メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
1	スライドショー	表示間隔	画像切り替えの間隔を設定	3秒	p.79
		画面効果	画像切り替え時の効果を選択	オフ	
		繰返し再生	最後の画像の再生後に最初から再生を繰り返す	オフ	
		動画自動再生	スライドショー中に動画も再生	オン	
	全画像プロテクト	保存されているすべての画像をプロテクト		-	p.103
	全画像消去	保存されているすべての画像を消去		-	-
	クイック拡大	拡大表示での最初の拡大率を設定		オフ	p.42
	再生音量	動画再生時の音量を設定		10	p.48
	画像表示	画像の自動回転	縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時に回転して表示	オン	p.79
		グリッド表示	グリッドの種類と色を設定	オフ/黒	p.42
白とび警告		再生モードの標準情報表示/ヒストグラム表示で白とび部分を赤で点滅表示	オフ	p.15	

詳細設定メニュー

1

基礎知識

メニュー	項目	機能	初期設定	参照	
1	Language/言語	表示言語の切り替え	English	p.36	
	日時設定	年月日の表示形式と日時を設定	2016/01/01	p.37	
	ワールドタイム	現在地と指定した都市の日時を切り替えて表示	現在地	p.102	
	文字サイズ	メニュー選択時の文字サイズを拡大	標準	p.37	
	電子音	合焦音/AEロック/セルフタイマー/リモコン/ミラーアップ/測距点切替と、 Fx1 / Fx2 に登録した機能(ワンタッチRAW+/Real Resolution/Shake Reduction/自動水平補正/電子水準器)の操作時の音量とオン/オフを切り替え	音量3/ すべてオン	-	
	LCD設定	画像モニターの明るさ/彩度/色味を調整	0	-	
	アウトドアモニター	屋外での画像モニターの明るさを調整	オフ	p.11	
2	照明設定	表示パネル	 で表示パネルを点灯	明るい	p.100
		背面操作部	画像モニターを引き出したときに、  で画像モニター裏側を点灯	オフ	
		レンズマウント部	 でレンズマウント部を点灯	オフ	
		カード/リリース端子	 でカードスロット内とリリース端子を点灯	オフ	
	インジケータ	Wi-Fi	Wi-Fiランプの明るさを設定	明るい	p.100
		GPS	GPSランプの明るさを設定	明るい	
		セルフタイマー	セルフタイマー撮影時のセルフタイマーランプの点灯を設定	オン	
		リモコン	リモコン撮影時のセルフタイマーランプの点灯を設定	オン	
	Wi-Fi *1		Wi-Fi機能の動作を設定	オフ	p.89
	GPS/電子コンパス	GPSログ	GPSログを記録するときの動作を設定	オン	p.74
		自動時刻修正	日時設定を自動的に補正	オン	
		キャリブレーション	方位情報のキャリブレーションを実行	-	
USB接続		パソコンと接続するときの転送モードを設定	MSC	p.87	
HDMI出力		AV機器とHDMI端子で接続するときを設定	オート	p.80	
オートパワーオフ		一定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるまでの時間を設定	1分	p.36	

メニュー	項目	機能	初期設定	参照	
3	フォルダー新規作成	メモリーカードに新しいフォルダーを作成	-	p.104	
	フォルダー名	画像が保存されるフォルダー名を設定	日付	p.104	
	ファイル名	画像に付与されるファイル名を設定	IMGP / _IMG	p.105	
	ファイル No.	連番設定	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継続	オン	p.106
		ファイルNo.リセット	ファイル番号をリセットし、0001から開始	-	
	著作権情報	Exifに書き込む撮影者と著作権者の情報を設定	オフ	p.106	
	フォーマット	メモリーカードをフォーマット	-	p.38	
4	ピクセルマッピング	センサーの画素の欠損部分を補完	-	p.112	
	ダストリムーバル	センサーを振動させてクリーニング	オン/オン	p.112	
	センサークリーニング	センサーをブローでクリーニングするために、ミラーアップ	-	p.113	
	バッテリー選択	別売のバッテリーグリップを装着したときのバッテリーの動作を設定	自動選択/自動判別	p.34	
	認証マーク	無線LANの認証マークを表示	-	p.128	
	バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョンを表示	-	-	
	リセット	カメラメニュー/メニュー/メニュー/メニュー/ダイレクトキー/スマートファンクション/コントロールパネル/再生モードパレットの設定内容をリセット	-	-	

*1 コントロールパネル登録可

カスタムメニュー

1

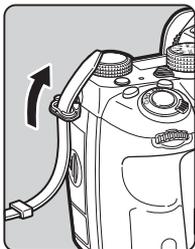
基礎知識

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
C1	1 露出設定ステップ	露出設定の調整ステップを設定	1/3 EVステップ	p.45
	2 ISO感度ステップ	ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ	p.49
	3 測光作動時間	測光タイマーの作動時間を設定	10秒	-
	4 連動外の自動補正	適正露出が得られないときに自動補正	オフ	-
	5 測距点と露出の関連付	AFエリア内の測距点と露出値の関連付けを設定	オフ	-
	6 B時の撮影方法	Bモードの SHUTTER の動作を設定	Type1	-
	7 フラッシュ同調速度	フラッシュの同調速度を選択	1/200	p.111
C2	8 AFロック時のAE-L	フォーカスロック時のAEロックを設定	オフ	-
	9 ファインダー内照明	合焦時と測距点移動時のファインダー内照明の点灯を設定	オート	p.17
	10 リモコン時のAF	リモコン撮影時のオートフォーカス動作を設定	オフ	p.58
	11 ブラケット撮影順	ブラケット撮影時の撮影順を設定	0 - +	p.59
	12 ワンブッシュブラケット	ブラケット撮影時に1回のリリースで全コマ撮影	オフ	p.59
	13 インターバル撮影の動作	インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画のときの撮影間隔を、露光開始時からカウントするか露光終了時からカウントするか設定	撮影間隔	p.62
14 インターバル撮影中のAF	インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画／スターストリームのときに、1回目でフォーカス位置を固定するか撮影ごとにオートフォーカスを作動させるかを設定	フォーカスロックする	p.62	
C3	15 WBの光源調整範囲	ホワイトバランスで光源を指定した場合に、自動で微調整を行うかどうかを設定	固定	p.63
	16 白熱灯下のオートWB	ホワイトバランス「オートWB」のときの白熱灯の色味を設定	強	p.63
	17 フラッシュ発光時のWB	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定	オートWB	p.63
	18 色温度ステップ	ホワイトバランス「色温度」の調整ステップを設定	ケルビン	p.64
	19 キーロックの動作	ボタン・ダイヤルの操作を一時的に無効にするときのボタンの種類を選択	Type1	p.41
	20 測距点移動ボタンの動作	測距点「セレクト」のときの SEL の動作を選択	Type1	p.53
	21 SRの自動オフ	ドライブモードがセルフタイマー／リモコンのときに、Shake Reductionを自動的にオフに設定	自動オフする	p.56

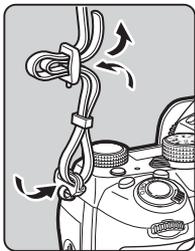
メニュー	項目	機能	初期設定	参照
C4	22 回転情報の記録	回転情報を記録	オン	p.79
	23 メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶、次に MENU を押したときに記憶したメニューを表示	記憶しない	p.21
	24 キャッチインフォーカス	マニュアルフォーカスレンズ使用時に、ピントが合うと自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」を行う	オフ	p.110
	25 AF微調整	オートフォーカスのピント位置を微調整	オフ	p.54
	26 絞りリングの使用	レンズの絞りリングが A 位置以外のときも撮影可能に設定	禁止	p.109
	カスタムのリセット	C 1～4メニューの設定内容をリセット	-	-

ストラップの取り付け

- 1 ストラップの先端を三角環に通す

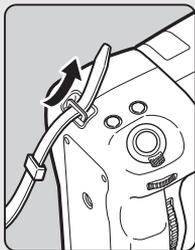


- 2 ストラップ先端を留め具の内側に固定する



バッテリーグリップを使用しているとき

別売のバッテリーグリップ D-BG6を装着しているときは、ストラップの片方をバッテリーグリップ側に取り付けることもできます。

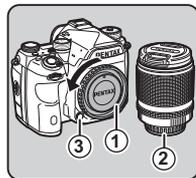


レンズの取り付け

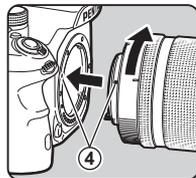
- 1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

- 2 ボディマウントキャップ(①)とレンズマウントカバー(②)を外す

レンズ取り外しボタン(③)を押しながら、ボディマウントキャップを左に回して外す。カバーを外したレンズは、カメラに取り付ける面を上にして置く。

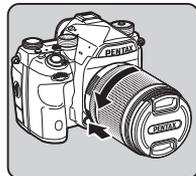


- 3 カメラとレンズのマウント指標(赤点/④)を合わせて差し込み、レンズを右に回す「カチッ」と音がするまで回す



取り外すとき

レンズキャップを取り付ける
→レンズ取り外しボタンを押し
ながらレンズを左に回す



●注意

- ・レンズの取り付け/取り外しは、ゴミやほこりの少ない場所で行ってください。
- ・カメラ本体にレンズを取り付けていないときは、必ずボディマウントキャップを装着してください。
- ・取り外したレンズには、必ずレンズマウントカバーとレンズキャップを取り付けてください。
- ・カメラのマウント内に指を入れたり、ミラーを触ったりしないでください。
- ・カメラやレンズのマウント部分には、レンズ情報接点があります。この部分にゴミや汚れが付いたり腐食が生じると、電気系統のトラブルの原因になる場合があります。もし汚れたときは、弊社修理センターにご相談ください。
- ・沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。沈胴式レンズの操作については、「沈胴式レンズの使い方」(p.41)を参照してください。
- ・本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、不具合などにつきましては保証いたしかねます。

●メモ

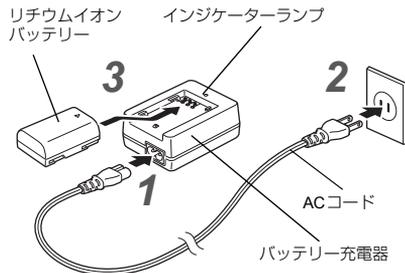
- ・各レンズの機能は、「各種レンズ使用時の機能」(p.108)を参照してください。
- ・を押して、マウント部分の照明を点灯させることができます。(初期設定：オフ) 照明は電源がOFFのときでも点灯します。➤2メニュー「照明設定」の「レンズマウント部」で設定を変更します。(p.100)

バッテリーのセット

本機専用のバッテリー D-LI90Pとバッテリー充電器 D-BC90Pを使用します。

バッテリーを充電する

1 バッテリー充電器にACコードを接続



2 ACコードをコンセントに差し込む

3 ▲マークがある面を上にしてバッテリーを充電器にセット

充電中はインジケータランプ点灯
ランプが消灯したら充電完了

●注意

- ・バッテリー充電器 D-BC90Pでは、D-LI90P以外は充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因になります。
- ・次の場合は、新しいバッテリーと交換してください。
 - ・バッテリー充電器に正しくセットしてもインジケータランプが点滅する、または点灯しない
 - ・正しく充電しても使用できる時間が短い(バッテリーの寿命)

●メモ

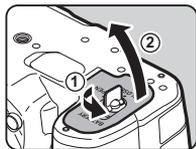
- 充電時間は、最大で約320分です（周囲の温度や充電状態によって異なります）。周囲の温度が0～40°Cの環境で充電してください。

バッテリーを入れる

●注意

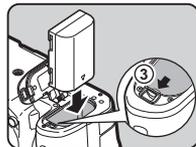
- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入ると、取り出せなくなる場合があります。
- バッテリーの電極は、乾いた柔らかい布でよく拭いてから入れてください。
- 電源が入っているときにバッテリーカバーを開けたり、バッテリーを取り出したりしないでください。
- カメラを長時間連続で使用した場合は、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますので、注意してください。
- 長い間使わないときは、カメラからバッテリーを取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、バッテリーが液漏れを起こすことがあります。また、取り出したバッテリーを半年以上使用しない場合は、30分程度充電してから保管してください。その後も半年から1年ごとに再充電してください。
- バッテリーは、高温になる場所を避け、室温以下を保持できる場所に保管してください。
- 長期間バッテリーをセットしていないと、日時がリセットされることがあります。その場合は、再度設定してください。

- 1 バッテリーカバーを開ける
バッテリーカバー開放ノブをつまみ上げ、OPENの方向に回してからバッテリーカバーを引き上げる



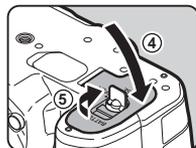
- 2 バッテリーの▲マークをカメラの外側に向け、ロックするまで挿入

取り出すときは、バッテリーロックレバーを③の方向に押す



- 3 バッテリーカバーを閉める

バッテリーカバー開放ノブをCLOSE方向に回してからノブを収納する



●メモ

- 低温下や連続撮影を続けた場合、バッテリー残量が正しく表示されないことがあります。
- 使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して、衣服の中で保温するなどして使用してください。低温で低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行や寒冷地で撮影する場合や大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。
- 別売のバッテリーグリップ D-BG6を使用するときは、▼4メニュー「バッテリー選択」で以下の設定ができます。
 - 優先使用するバッテリー
 - 単3形電池を使用する場合の電池の種類

リサイクルについて

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。

ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープを貼って、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

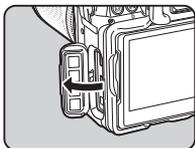


Li-ion20

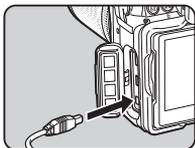
ACアダプターを使用する

画像モニターを長時間使用するときや、パソコンやAV機器と接続するときは、別売のACアダプターキット K-AC132Jのご使用をお勧めします。

- 1 カメラの電源が OFF になっていることを確認し、端子カバーを開ける



- 2 ACアダプターのDC端子とカメラのDC入力端子の▲マークを合わせて接続



- 3 ACアダプターをACコードに接続し、コンセントに差し込む

●注意

- ACアダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- 各端子はしっかりと接続してください。メモリーカードにアクセス中に接続部が外れると、メモリーカードやデータが破損するおそれがあります。
- ACアダプターを使用するときは、ACアダプターキットの使用説明書を併せて参照してください。

メモリーカードのセット

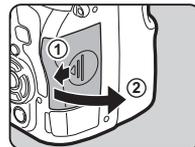
本機では、以下のメモリーカードが使用できます。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- SDXCメモリーカード

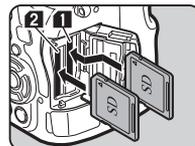
本書では、これらを「メモリーカード」と表記します。

- 1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

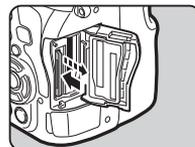
- 2 メモリーカードカバーを①の方向にスライド



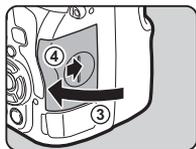
- 3 メモリーカードのラベル面を画像モニター側に向けてメモリーカードスロットの奥まで挿入



取り出すときは、メモリーカードをもう一度押し込む



4 メモリーカードカバーを閉じ、④の方向にスライド



●注意

- カードアクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。
- 電源が入っているときにメモリーカードカバーを開けると、電源が切れます。使用中はカバーを開けないでください。
- 未使用または他の機器で使用したメモリーカードは、必ず本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。（p.38）
- 動画を撮影する場合は、高速のメモリーカードを使用してください。書き込みが間に合わなくなると、撮影途中で終了する場合があります。

●メモ

- メモリーカードを2枚セットした場合の記録方法は、「メモリーカードの使用方法を設定する」（p.43）を参照してください。
- を押し、カードスロット内部の照明を点灯させることができます。（初期設定：オフ）照明は電源がOFFのときでも点灯します。2メニュー「照明設定」の「カード/レリーズ端子」で設定します。（p.100）

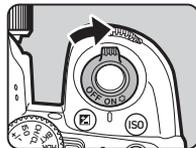
初期設定

電源を入れて初期設定をします。

電源を入れる

1 電源レバーを「ON」に合わせる

初めて電源を入れたときは、「Language/言語」画面が表示



●メモ

- 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます。（初期設定：1分）2メニュー「オートパワーオフ」で変更できます。

言語を設定する

1 ▲▼◀▶で言語を選択してOKを押す

選択した言語で「初期設定」画面が表示
 に都市名が正しく設定されているときは、手順6へ



2 ▼で選択枠をに移動し、▶を押す

「現在地」画面が表示

3 ◀▶で都市を選択

で地図表示切り替え
 指定できる都市は、「都市名一覽」（p.120）参照



4 ▼で「夏時間」を選択、◀▶で□/☑を設定

5 **OK**を押す
「初期設定」画面に戻る

6 ▼で「文字サイズ」を選択、▶を押す

7 ▲▼で標準/大きいを選択、**OK**を押す
「大きい」に設定すると、選択中のメニュー項目が大きく表示



8 ▼で「設定完了」を選択、**OK**を押す
「日時設定」画面が表示



日時を設定する

1 ▶を押し、▲▼で日付の表示スタイルを選択



2 ▶を押し、▲▼で24h/12hを選択

3 **OK**を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻る

4 ▼を押してから▶を押す
選択枠が西暦年に移動

5 ▲▼で西暦年を設定
同様に月/日と時刻を設定



6 ▼で「設定完了」を選択、**OK**を押す
「画面表示」画面が表示



画面表示を設定する

1 ◀▶で配色を選択

1~12の中から、ステータススクリーン/コントロールパネル/メニューカーソルの色を選択



2 OKを押す

撮影モードになり、撮影できる状態になる

メモ

- 設定した言語/文字サイズ/日時を **1** メニュー、配色は **5** メニュー「その他の表示」で変更できます。(p.25, p.28)
- GPSがオンのときは、衛星から取得した情報を利用して日時が補正されます。(p.27)

メモリーカードをフォーマットする

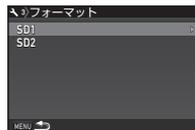
3

1 MENUを押す

1メニューが表示

2 太陽/月のアイコンで **3**メニューを表示3 ▲▼で「フォーマット」を選択、▶を押す
「フォーマット」画面が表示

4 ▲▼でフォーマットするメモリーカードスロットを選択、▶を押す

5 ▲ で「フォーマット」を選択、OKを押す
フォーマット開始→手順4の画面に戻る

6 MENUを2回押す

注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて全データが消去されます。

メモ

- フォーマットを行うと、メモリーカードに「K-1」というボリュームラベルが付きます。本機をパソコンに接続したときは、「K-1」という名称のリムーバブルディスクとして認識されます。

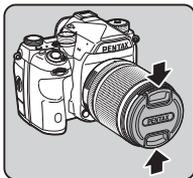
撮影のキホン

本機が撮影時の状況を判断して最適な撮影条件を自動で設定する**AUTO**（シーンアナライズオート）モードで撮影してみましょう。

ファインダーを使って撮影する

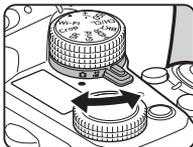
- 1** 図の矢印部分を押してレンズキャップを外す
沈胴式レンズ装着時は、レンズを繰り出す

☞ 沈胴式レンズの使い方
(p.41)

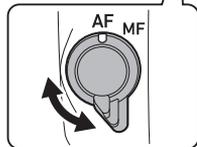
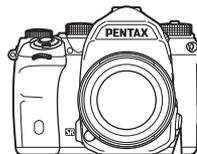


- 2** 電源を入れる

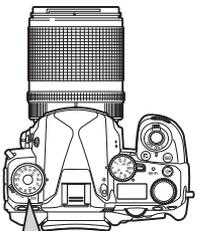
- 3** 静止画／動画切替レバーを
📷に合わせる



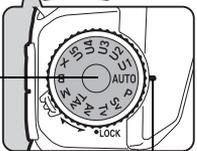
- 4** フォーカスモード切替レバーを**AF**に合わせる



- 5** モードダイヤルロックボタンを押しながらモードダイヤルを**AUTO**に合わせる



モードダイヤル
ロックボタン



ダイヤル指標

画像モニターに撮影モードが表示 (ガイド表示)

☞ ガイド表示の設定 (p.25)



2 準備

6 ファインダーをのぞいて被写体を確認
ズームレンズ使用時は、ズームリングを回して画角を調整

7 AFフレーム内に被写体を入れて
SHUTTER 半押し
ピントが合うと、ファインダー内の
●が点灯し「ピピッと」と電子音
☞ 電子音の設定 (p.28)



合焦マーク

8 SHUTTER 全押し
撮影画像が画像モニターに表示 (クイックビュー)

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作



消去



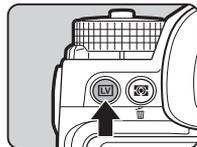
拡大表示



RAW画像を追加保存 (保存可能時のみ)

ライブビューで撮影する

1 「ファインダーを使って撮影する」の手順6 (p.40) でLVを押す
画像モニターにライブビュー画像が表示



2 画像モニターのAFフレーム内に被写体を入れて SHUTTER 半押し
ピントが合うと、AFフレームが緑になり「ピピッと」と電子音



AFフレーム

ライブビュー中のボタン・ダイヤル操作

OK

拡大表示

☰で倍率変更 (最大16倍)

▲▼◀▶で拡大位置移動

●で中央に戻る

OKで等倍に戻る

LV

ライブビュー終了

以降の操作は、ファインダー撮影と同様

メモ

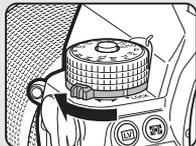
- AFでピントを合わせることもできます。(p.51)
- 撮影前にプレビューを表示して被写界深度が確認できます。(p.55)
- クイックビューの画面表示と動作については、📷メニュー「クイックビュー表示」で設定できます。(p.24)「表示時間」を「HOLD」に設定すると、次の操作を行うまでクイックビューが表示されます。
- 機能ダイヤルが●の位置になっているときは、設定ダイヤルで拡大表示することもできます。

● 注意

- **AUTO** モードは、設定できる機能が制限されます。

モードダイヤルを簡単に操作する

モードダイヤルロック解除レバーでロックを解除すると、モードダイヤルロックボタンを押さなくてもモードダイヤルが操作できます。



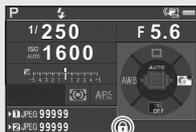
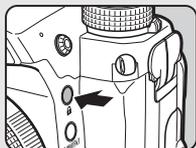
キー操作をロックする

撮影時の誤操作を防ぐため、一部のボタン・ダイヤルの操作を一時的に無効にすることができます。

[L] を押しながら  を回すとボタン・ダイヤルがロックされ、もう一度回すとロックが解除されます。

ロック中は、ステータススクリーン／ファインダー内／ライブビューに  が表示されます。

ロックするボタン・ダイヤルの種類は、**C3**メニュー「19 キーロックの動作」で選択できます。

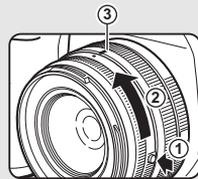


タイプ	ロックされるボタン・ダイヤル
Type1	 /  /  /  /  / 
Type2	 /  /  / 

沈胴式レンズの使い方

HD PENTAX-DA 18-50mm F4-5.6

DC WR REなどの沈胴式レンズを装着している場合は、レンズを収納した状態で電源を入れるとメッセージが表示されます。ズームリング上のボタン (①) を押しながら②の方向に回してレンズを繰り出します。レンズを収納するときは、ボタンを押しながら②の逆方向に回し、白い点を③の位置に合わせます。

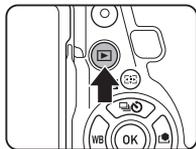


画像の確認

撮影した画像を順に確認してみましょう。

2 準備

1 再生ボタンを押す



再生モードになり、最新画像が表示 (1画像表示)



2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

◀ / 太陽アイコン 左	前の画像を表示
▶ / 太陽アイコン 右	次の画像を表示
再生ボタン	消去
太陽アイコン 右	拡大表示 (最大16倍) ▲▼◀▶で拡大位置移動 ○で中央に戻る OKで全体表示に戻る
太陽アイコン 左	分割表示 (p.77)
再生ボタン	再生スロット切り替え
RAWアイコン	RAW画像を追加保存 (保存可能時のみ)
INFO	表示情報切り替え (p.15)
▼	再生モードパレット表示 (p.76)

メモ

- 太陽アイコン 右で拡大表示したときの拡大率は、画面右下に表示されます。100%が表示されたときは、ピクセル等倍表示です。
▶1メニュー「クイック拡大」で、最初の拡大率が設定できます。
- 画像モニターにRAW表示されているときは、直前に撮影したJPEG画像をRAW形式で追加保存ができます。(バッファRAW保存)
- 1画像表示のときに、グリッドを表示することができます。
▶1メニュー「画像表示」の「グリッド表示」で設定します。(p.27)

記録方法を設定する

メモリーカードの使用方法を設定する



メモリーカードを2枚セットした場合の記録方法をカメラメニュー「カードスロット設定」で設定します。

順次	SD1のカードがいっぱいになったらSD2に記録
複製	SD1/SD2に同じデータを同時記録
RAW / JPEG分離	SD1にRAW、SD2にJPEGを記録

撮影モードのときは、SD1/SD2のどちらかに記録されます。

静止画の記録設定



静止画の記録形式は、カメラメニュー「記録設定」で設定します。

記録形式	JPEG / RAW / RAW+
JPEG記録サイズ	L / M / S / XS
JPEG画質	★★★ / ★★ / ★
RAWファイル形式	PEF / DNG
色空間	sRGB / AdobeRGB

注意

- 「カードスロット設定」を「RAW / JPEG分離」に設定したときは、「記録形式」は「RAW+」固定です。

メモ

- 「記録形式」を「RAW+」に設定すると、ファイルNo.が同一のJPEG画像とRAW画像が同時に記録されます。
- Fn1 / Fn2 を押したときだけ記録形式を変更して撮影することもできます。(p.99)
- 「RAW ファイル形式」の「PEF」は、PENTAX 独自のRAW ファイルフォーマットです。

動画の記録設定



動画の記録形式は、カメラメニュー「記録設定」で設定します。

記録サイズ	フレームレート
FullHD	60i / 50i / 30p / 25p / 24p
HD	60p / 50p

画角を設定する



撮影時の画角をカメラメニュー「クロップ」で変更できます。

AUTO	装着したレンズを自動判定
FF	35ミリフルサイズ
APS-C	APS-Cサイズにクロップ



メモ

- スマートファンクションで切り替えることもできます。(p.19)
- DAレンズ（イメージセンサーがAPS-Cサイズの一眼レフデジタルカメラ用レンズ）を装着している場合は、APS-Cに設定します。MENUに設定しているときは、自動でAPS-Cサイズにクロップされます。
- クロップされるときは、ファインダー内にクロップ枠が表示されます。(p.17)

静止画を撮影する

被写体や状況によって撮影モードを選択します。
本機では以下の撮影モードがあります。

撮影モード	機能	参照
AUTO シーンアナライズオート モード	最適な撮影条件をカメラ が自動で設定	p.39
P/Sv/Tv/Av/ TAv/M/B/X 露出モード	シャッター速度/絞り値 /ISO感度を設定して撮 影	p.44
U1~U5 USERモード	よく使う露出モードと撮 影設定をまとめて登録	p.101

露出モード

○：設定可 △：条件付きで可 ×：設定不可

モード	シャッター 速度変更	絞り値 変更	ISO感度 変更	露出補正
P プログラム 自動露出	△ ^{*1}	△ ^{*1}	○	○
Sv 感度優先 自動露出	×	×	○ ^{*2}	○
Tv シャッター 優先自動露出	○	×	○	○
Av 絞り優先 自動露出	×	○	○	○
TAv シャッター& 絞り優先 自動露出	○	○	×	○
M マニュアル 露出	○	○	○ ^{*2}	○
B バルブ露出	×	○	○ ^{*2}	×
X フラッシュ 同調速度	×	○	○ ^{*2}	○

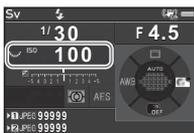
*1 **5** メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」で変更する値を指定可能 (p.99)

*2 ISO AUTO選択不可

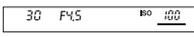
*3 ISO AUTO固定

*4 **C1**メニュー「7 フラッシュ同調速度」で速度切り替え可能

1 モードダイヤルを設定する露出モードに合わせる ステータススクリーンには、変更可能な値に / が表示



ファインダー内には、変更可能な値にアンダーラインが表示



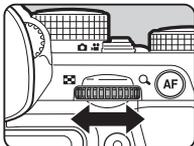
表示パネルには、設定値が表示



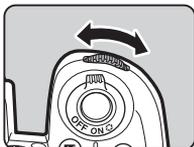
ライブビュー撮影では、変更可能な値に  が表示



2 を回す Av / Tv / M / B / Xモードの絞り値を変更 SvモードはISO感度を変更



3 を回す Tv / Tv / Mモードのシャッター速度を変更



メモ

- 露出の設定は、1/3 EVステップで指定できます。C1メニュー「1 露出設定ステップ」で1/2 EVステップに変更できます。
- M / Xモードでは、露出の調整中に適正露出との差がバググラフで表示されます。
-  /  と  を操作したときにどのように動作するかを、露出モードごとに設定できます。C5メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」で設定します。(p.99)

注意

- ISO感度を固定値で設定すると、設定したシャッター速度 / 絞り値で適正露出が得られない場合があります。
- Bモードでは、ドライブモードの連続撮影 / プラケット撮影 / インターバル撮影は選択できません。

長秒時のノイズリダクション

低速のシャッター速度で撮影するときは、C2メニュー「ノイズリダクション」の「長秒時NR」で、ノイズ軽減処理の設定ができます。

AUTO	シャッター速度・ISO感度・カメラ内部温度を判断してノイズリダクションを行う
ON	シャッター速度が1秒以上のときにノイズリダクションを行う
OFF	ノイズリダクションを行わない

プログラムライン



☑1メニュー「プログラムライン」で、露出の制御方法が指定できます。

	AUTO	カメラが適切な設定を判断
	Normal	基本のプログラム自動露出
	高速優先	高速シャッターを優先
	深度優先 (深い)	被写界深度を深くする
	深度優先 (浅い)	被写界深度を浅くする
	MTF優先	使用レンズの最良の絞り値を優先 D FA / DA / DAL / FA / FA Jレンズ使用時に有効

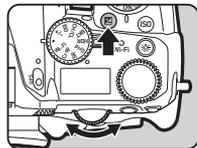
プログラムラインが有効になるのは、以下のときです。

- ・ **P / Sv**モード
- ・ ☑5メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」で **TAv / M**の○の設定が**P LINE**に設定されているとき

露出補正

露出を -5 ~ +5 EV (☑モードは -2 ~ +2 EV) の範囲で補正できます。

- 1 を押してから を回す
補正中はステータススクリーン
／ファインダー内／表示パネル
／ライブビューに と補正值が
表示



ボタン・ダイヤル操作

設定の開始／終了

○ リセット

メモ

- ・ スマートファンクションで露出補正值を変更することもできます。(p.19)

動画を撮影する

- 1 静止画／動画切替レバーを  に合わせる
ライブビューが表示



録画可能時間

- 2 モードダイヤルで露出モードを選択する
P／Tv／Av／TAv／Mが選択可能

- 3  ／  で露出を設定する

- 4 ピントを合わせる
AFモード時は、**SHUTTER** 半押し

- 5 **SHUTTER** 全押し
撮影開始
画像モニター左上に「REC」が点滅し、記録されるファイル容量が表示

- 6 もう一度 **SHUTTER** を押す
撮影終了

注意

- 音声を録音する設定にしている場合、カメラの動作音なども録音されます。
- デジタルフィルターなどの画像処理を設定して撮影した場合は、部分的にコマが抜けて記録されることがあります。
- 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、撮影中にレンズを収納すると録画が中止され、エラーメッセージが表示されます。
-  モードでは、Wi-Fiは無効です。

メモ

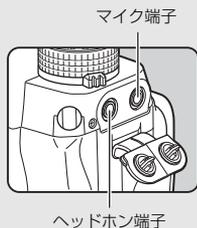
- モードダイヤルが手順 2 のモード以外になっているときは、**P**モードで動作します。
- 動画の設定は、 1～2メニューで設定します。(p.26)
音量に関する設定は、 1メニュー「音量設定」で設定します。

録音レベル	AUTO／0～20
風切音低減	オン／オフ
ヘッドホン音量	0～20

- 「風切音低減」をオンに設定すると、低音域がカットされます。必要がないときは、オフにすることをお勧めします。
- 動画は最大 4GB、または最長 25 分まで連続して撮影できます。メモリーカードがいっぱいになると撮影が終了します。

マイクやヘッドホンを利用する

マイク端子に市販のステレオマイクを接続し、カメラの動作音などが録音されることを軽減できます。外部マイクは以下の仕様を推奨します。



プラグ	ステレオミニ (Φ3.5mm)
形式	ステレオ エレクトレットコンデンサ
電源	プラグインパワー方式 (動作電圧 2.0V以下)
インピーダンス	2.2kΩ

また、ヘッドホン端子に市販のヘッドホンを接続すると、音声をヘッドホンで聴きながら撮影／再生ができます。

動画の再生

1 再生モードの1画像表示で再生する動画を表示



ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	(一時停止中) コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	(一時停止中) コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
▼	停止
☂	音量調節 (21段階)
AE-L	(一時停止中) 表示中のコマをJPEG形式で保存
INFO	標準情報表示／情報表示なし切り替え

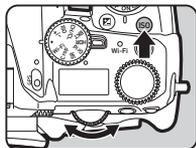
●メモ

- 再生時の最初の音量は、1メニュー「再生音量」で設定ができます。(p.27)
- 再生モードパレット「動画編集」で、動画の分割や不要範囲の消去ができます。(p.84)

露出を設定する

ISO感度

- 1 ISOを押してから  を回す
ステータススクリーン／ファインダー内／表示パネル／ライブビューのISO感度が変化
○を押すとISO AUTOに戻る



メモ

- スマートファンクションでISO感度を変更することもできます。(p.19)
-  モードは、ISO 100～3200が設定できます。
- ISO感度の調整ステップは1EVステップです。露出設定ステップに合わせるときは、C1メニュー「2 ISO感度ステップ」で設定します。

ISO AUTOの調整範囲を設定する



ISO AUTOの調整範囲を  1メニュー「感度AUTO設定」で設定できます。
また、「感度アップポイント」で感度の上げ方を指定できます。



	できるだけ感度を上げない
	標準
	積極的に感度を上げる

注意

-  3メニュー「HDR撮影」を有効にして「自動位置調整」をオンに設定している場合は、「感度アップポイント」は  固定です。

高感度時のノイズリダクション



ISO感度を高く設定しているときのノイズ低減処理を設定できます。

- 1  2メニュー「ノイズリダクション」を選択、▶を押す
「ノイズリダクション」画面が表示

- 2 「高感度NR」を選択、▶を押す

- 3 強度を選択、OKを押す



AUTO	ISO感度に応じて最適なノイズリダクションを行う
弱/中/強	弱/中/強のノイズリダクションを行う
CUSTOM	ISO感度別にノイズリダクション処理を設定
OFF	ノイズリダクションを行わない

「CUSTOM」以外は手順7へ

- 4 「設定」を選択、▶を押す

5 ISO感度を選択し、それぞれの強度を選択



ボタン・ダイヤル操作



ページ切り替え



リセット

6 MENU を押す

手順3の画面に戻る

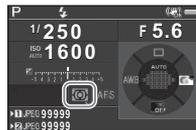
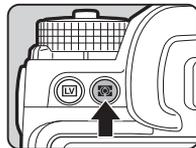
7 MENU を2回押す

測光方式



センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定します。

1 を押しながらかつを回す



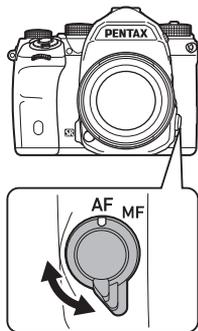
 分割	センサーを分割して明るさを測定 逆光時は自動補正
 中央重点	センサー中央部分を中心に測光 中央部分ほど感度が高い。逆光時も自動補正されない
 スポット	センサー中央の狭い範囲を測光 被写体が小さいときなどに利用

メモ

-  1 /  1メニュー「測光方式」で設定することもできます。

フォーカスモードを設定する

フォーカスモード切替レバーで **AF**
／**MF**を切り替えます。

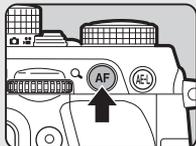


ファインダー撮影とライブビュー撮影では、オートフォーカスの方法が異なります。

ファインダー撮影	TTL位相差検出式 AFS ／ AFC が選択可能 「測距点」でピントを合わせる位置を設定 (p.52) 「コントラスト検出式」よりも高速なオートフォーカスが可能
ライブビュー撮影	コントラスト検出式 顔検出や追尾が可能 (p.53)

AFでピントを合わせる

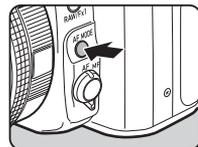
AFでピントを合わせることもできます。**AF**の動作は、5／2メニュー「ボタンカスタマイズ」で設定します。(p.98)



ファインダー撮影のAFモード



1 **AF MODE** を押しながらかみゆを回す



AFS
シングルモード

SHUTTER 半押しでピントが合うと、その位置にピントを固定
必要に応じてAF補助光が発光

AFC
コンティニュアス
モード

SHUTTER 半押しの間、被写体に合わせて常にピントを調整
ピントが合っていないくても撮影可能

●注意

- **AUTO**モードのときは、**AFS**固定です。

1 **AF MODE** を押しながら  を回す



	オート (33点)	33点から自動でピント位置を決定
	ゾーンセレクト	選択した9点から自動的にピント位置を決定
	セレクト	33点中の任意の1点を選択
	セレクトエリア 拡大 (S)	33点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の8点から選択 A.F.C 時のみ
	セレクトエリア 拡大 (M)	33点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の24点から選択 A.F.C 時のみ
	セレクトエリア 拡大 (L)	33点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の32点から選択 A.F.C 時のみ
	スポット	33点中の中央の1点にピントを合わせる

 /  以外は手順2へ

2 測距点を指定



ボタン・ダイヤル操作

   	測距点を移動
OK	中央に戻す
	    の機能を測距点移動モード/ ダイレクトキーモードに切り替え

●注意

- **AUTO**モードのときは、 固定です。

メモ

- 測距点が移動できるときは、ファインダー内に  が表示されます。また、選択した測距点は、ファインダー内でも確認ができます。(p.17)
-  1メニュー「位相差AF」で、ファインダー撮影時のオートフォーカスに関する以下の設定ができます。

AFモード	AFS / AF.C
測距点切替	 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / |

任意の範囲にピントを合わせる

オートフォーカスするエリアを任意の位置・範囲に設定します。

- 1 AFモードを / に設定
- 2 を押す
- 3 AFエリアを指定



ボタン・ダイヤル操作

- AFエリアを移動
- (多点オート) AFエリア拡大／縮小
- 中央に戻す

- 4 を押す
AFエリアが確定

●メモ

- ・ 1 / 1メニュー「コントラストAF」で、ライブビュー撮影時のオートフォーカスに関する以下の設定ができます。

コントラストAF	/ / / /
フォーカスアシスト	オン／オフ
コントラストAFの動作	フォーカス優先／リリース優先

「フォーカスアシスト」をオンに設定すると、ピントが合った部分の輪郭が強調され、確認しやすくなります。**AF** / **MF**の両方で有効です。

AF位置を微調整する

C4

オートフォーカスのピント位置を微調整します。

- 1 **C4**メニュー「25 AF微調整」を選択、 を押す
「25 AF微調整」画面が表示
- 2 一律／個別を選択、 を押す

一律	すべてのレンズで同じ調整値を適用
個別	使用中のレンズの調整値を登録（最大20種類）

- 3 「設定」で値を調整



ボタン・ダイヤル操作

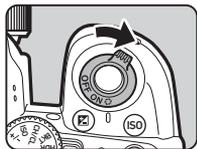
- / 右 前方向に調整
- / 左 後方向に調整
- リセット

- 4 を押す
設定値が登録

- 5 を2回押す
撮影待機状態に戻る

被写界深度を確認する (プレビュー)

電源レバーを  に合わせるとプレビューができます。
2つのプレビュー方法があります。



光学プレビュー	被写界深度をファインダーで確認
デジタルプレビュー	構図・露出・ピントなどを画像モニターで確認 拡大表示したり、プレビュー画像を保存することが可能

プレビュー方法を設定する



1  メニュー「ボタンカスタマイズ」を選択、**▶**を押す

「ボタンカスタマイズ」画面が表示

2 「プレビューレバー」を選択、**▶**を押す

「プレビューレバー」画面が表示

3 光学プレビュー／デジタルプレビューを選択、**OK**を押す

「デジタルプレビュー」は、表示中の動作と表示項目を設定可能



4 **MENU** を3回押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- 以下のときは、設定にかかわらず光学プレビューで動作します。
 - ドライブモードのミラーアップ撮影／多重露出／インターバル撮影
 - アストロトレーサー
 - 📷モード

注意

- 一部の機能は、デジタルプレビューに適用されません。

ドライブモードを設定する

1 撮影待機状態で▲を押す ドライブモード画面が表示



2 ドライブモードを選択

1コマ撮影 (□)	通常の撮影
連続撮影 (□ ^M / □ ^M / □ ^T)	SHUTTER を押している間に連続して撮影 (p.57)
セルフタイマー (☉ / ☉ ^{5s} / ☉ ^{10s})	SHUTTER を押してから12秒後 / 2秒後に撮影 (p.57)
リモコン (i / i ^{ss} / i ^q)	リモコンで撮影 (p.58)
ブラケット撮影 (☒ / ☒ ² / ☒ ³)	露出が異なる画像を連続して撮影 (p.59)
ミラーアップ撮影 (MUP / MUP ²)	ミラーをアップして撮影 (p.60)
多重露出 (☐ / ☐ ² / ☐ ³ / ☐ ⁴)	任意の枚数を1枚の画像に合成しながら撮影 (p.60)
インターバル撮影 (INT / ☐ / ☐ ² / ☐ ³)	一定間隔で自動的に連続撮影 (p.61)

●注意

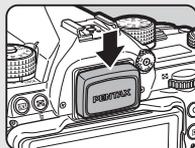
- 設定している機能によっては、選択できるドライブモードが制限されます。(p.107)

●メモ

- カメラの電源を切ってもドライブモードの設定は保存されています。☑5メニュー「モードメモリ」で「ドライブモード」をオフに設定すると、電源を切ったときに「1コマ撮影」に戻ります。(p.103)
- セルフタイマー / リモコン / ミラーアップ撮影を選択したときは、☑4メニュー「Shake Reduction」は自動的にオフになります。オフにしたいときは、☑3メニュー「21 SRの自動オフ」で設定します。

ファインダーから光が入ってしまうとき

セルフタイマー / リモコンを使用するドライブモードを選択しているときは、ファインダーから入る光が露出に影響を与えることがあります。その場合は、AEロックを使用するか、付属のMEファインダーキャップを利用してください。MEファインダーキャップは、アイカップを外して取り付けます。



連続撮影

- 1 ドライブモード画面で を選択、▼を押す



- 2 ◀▶で選択、OKを押す

	連続撮影 (高速)
	連続撮影 (中速)
	連続撮影 (低速)

撮影待機状態に戻る

メモ

- ・スマートファンクションで / / を切り替えることもできます。(p.19)
- ・「AFモード」が **AF.S** のときのオートフォーカスは、1枚目の合焦位置に固定されます。

セルフタイマー

- 1 ドライブモード画面で を選択、▼を押す



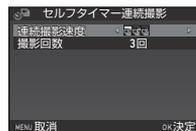
- 2 ◀▶で選択

	セルフタイマー (12秒)
	セルフタイマー (2秒)
	セルフタイマー連続撮影

/ を選択したときは、手順6へ

- 3 **INFO** を押す

- 4 連続撮影速度 / 撮影回数を設定



- 5 **OK** を押す

手順1の画面に戻る

- 6 **OK** を押す

撮影待機状態に戻る

- 7 **SHUTTER** 半押し→全押し
12秒後または2秒後に撮影

リモコン

- 1 ドライブモード画面で  を選択、▼を押す



- 2 ◀▶で選択

	リモコン
	リモコン (3秒後リリース)
	リモコン連続撮影

 /  を選択したときは、手順6へ

- 3 **INFO** を押す

- 4 「連続撮影速度」を設定



- 5 **OK** を押す
手順1の画面に戻る

- 6 **OK** を押す
撮影待機状態に戻る

- 7 **SHUTTER** 半押し

- 8 カメラ正面のリモコン受光部にリモコンを向け、リモコンのシャッターボタンを押す

●メモ

- リモコンで撮影できる距離は、カメラ正面から約4mです。
- リモコンでピント合わせをしたいときは、**C2**メニュー「10 リモコン時のAF」で設定します。
- 防水リモコン O-RC1を使用時は、リモコンの  ボタンでピント合わせができます。**Fn** ボタンには対応していません。

ブラケット撮影

- 1 ドライブモード画面で  を選択、▼を押す



- 2 ◀▶で選択

	ブラケット撮影
	ブラケット撮影+セルフタイマー
	ブラケット撮影+リモコン

 を選択したときは、手順6へ

- 3 **INFO** を押す

- 4 動作を選択



- 5 **OK** を押す

手順1の画面に戻る

6 撮影枚数とブラケット幅を設定

ボタン・ダイヤル操作

	撮影枚数選択
	ブラケット幅変更 (最大±3 EV)
	露出補正
	リセット

- 7 **OK** を押す

撮影待機状態に戻る

- 8 撮影する

撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

メモ

- ブラケット幅は、**C1**メニュー「1 露出設定ステップ」の設定に従って1/3 EVステップまたは1/2 EVステップで設定できます。
- **C2**メニューで、ブラケット撮影に関する以下の設定ができます。

11 ブラケット撮影順	撮影順を変更
12 ワンブッシュブラケット	1回のリリースでまとめて撮影

- スマートファンクションでブラケット幅を変更することもできます。(p.19)

ミラーアップ撮影

- 1 ドライブモード画面で **MUP** を選択、▼を押す



- 2 ◀▶で選択

MUP	ミラーアップ撮影
MUP	ミラーアップ撮影+リモコン

- 3 **OK**を押す

撮影待機状態に戻る

- 4 **SHUTTER** 半押し→全押し
ミラーがアップし、AEロック

- 5 もう一度 **SHUTTER** 全押し
撮影後、ミラーダウン

●メモ

- ミラーアップ後1分経過すると、自動的にミラーが下がります。

●注意

- ライブビュー撮影時は、ミラーアップ撮影は選択できません。

多重露出

- 1 ドライブモード画面で  を選択、▼を押す



- 2 ◀▶で選択

	多重露出
	多重露出+連続撮影
	多重露出+セルフタイマー
	多重露出+リモコン

設定を変更しない場合は、手順6へ

- 3 **INFO**を押す

- 4 撮影条件を設定



合成方法	平均/加算/比較明から選択
撮影回数	2~2000回で設定
連続撮影速度 /セルフタイマー /リモコン	それぞれの動作モードを選択

- 5 **OK**を押す
手順1の画面に戻る

- 6 **OK**を押す
撮影待機状態に戻る

7 撮影する

クイックビューが表示

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

	画像を破棄し、1回目から撮影し直し
	撮影済み画像を保存し、  メニューを表示

設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

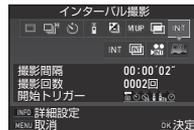
メモ

- ・「合成方法」は、それぞれ以下のように合成されます。

平均	露光量を平均して合成
加算	露光量を加算して合成
比較明	1枚目の画像と比較して明るい部分だけを置き換えて合成

インターバル撮影

1 ドライブモード画面でINTを選択、▼を押す



2 ◀▶で選択

INT	インターバル撮影 一定間隔で連続撮影し、それぞれ保存
	インターバル合成 一定間隔で撮影した画像を1枚に合成
	インターバル動画 一定間隔で撮影した静止画を1つの動画ファイル (Motion JPEG、拡張子：.AVI) で保存
	スターストリーム インターバル合成で撮影した静止画を1つの動画ファイル (Motion JPEG、拡張子：.AVI) で保存

設定を変更しない場合は、手順6へ

3 を押す

4 撮影条件を設定



記録サイズ	[4K] / [FullHD] / [HD] から選択 (👤 / 📷 のみ)
撮影間隔	2秒間～24時間で設定
撮影待機時間	最短または1秒～24時間で設定
撮影回数	2～2000回で設定
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを即時 / セルフタイマー / リモコン / 時刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」のときに設定
合成方法	平均 / 加算 / 比較明から選択 (📷 のみ)
途中経過保存	途中の画像を保存する場合は☑ (📷 のみ)
フェードアウト	光跡をフェードアウトするレベルを選択 (📷 のみ)

5 OK を押す

手順1の画面に戻る

6 OK を押す

撮影待機状態に戻る

7 SHUTTER を押す

「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始
撮影を途中で終了する場合は、電源レバーを「OFF」にする
設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

📷 メモ

- INT / 📷 では、新しくフォルダーが作成されて画像が保存されます。
- 「撮影間隔」の最小値は、デジタルフィルター / 明瞭コントロール / 肌色補正の設定時は10秒、「HDR撮影」設定時は20秒になります。
- 「撮影間隔」で設定した間隔で2回目以降の露光が開始されず。「撮影間隔」よりもシャッター速度が長い場合は、途中の撮影がスキップされます。たとえば「撮影間隔」が2秒でシャッター速度が3秒の場合、2回目（撮影開始から2秒後）は1回目の露光中のため撮影されず、結果的に指定した撮影回数のコマ数を撮影せずに終了します。このような場合は、C2メニュー「13 インターバル撮影の動作」で「撮影待機時間」に設定すると、各コマの撮影が終了してから指定した間隔で撮影ができます。「13 インターバル撮影の動作」の設定によって、手順4の画面の表示が変わります。
- INT / 📷 では、1回目のフォーカス位置に固定して撮影されます。撮影ごとにオートフォーカスを作動させる場合は、C2メニュー「14 インターバル撮影中のAF」を「フォーカスロックしない」に設定します。
- 📷 / 📷 の撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。
- 👤 / 📷 では、📷4メニュー「Shake Reduction」はオフ固定です。
- 📷 では、モードダイヤルの位置にかかわらずMモードで動作します。

ホワイトバランスを設定する

1 撮影待機状態で◀を押す

ホワイトバランス設定画面が表示
ファインダー撮影時にデジタルプレビューを表示すると
きは、電源レバー 

2 ホワイトバランスを選択

 /  /  は  で種類 / 番号を選択



AWB	オートWB
	マルチパターンオートWB
	太陽光
	日陰
	曇天
	屋光色蛍光灯
	屋白色蛍光灯
	白色蛍光灯
	電球色蛍光灯
	白熱灯
CTE	Color Temperature Enhancement
	マニュアルWB1~3
K	色温度1~3

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

AE-L プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

微調整が不要なときは、手順5へ

3 INFO を押す 微調整画面が表示



ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼ G-M (グリーンーマゼンタ) 間
- ◀▶ B-A (ブルーアンバー) 間
- リセット

4 OK を押す 手順2の画面に戻る

5 OK を押す 撮影待機状態に戻る

●注意

- **AUTO** モードのときは、**AWB** 固定です。
- ドライブモードがミラーアップ撮影 / 多重露出 / インターバル撮影のときは、手順1のデジタルプレビュー操作はできません。

●メモ

- **A** は、光源が混在する場所でも領域ごとの光源を判断して自動調整します。(Mモード時は不可)
- **C3** メニューでホワイトバランスに関する以下の設定ができます。

15 WBの光源調整範囲	固定 / 自動調整
16 白熱灯下のオートWB	強 / 弱
17 フラッシュ発光時のWB	オートWB / マルチパターン オートWB / 変更しない
18 色温度ステップ	ケルビン / ミレッド

マニュアルでホワイトバランスを調整する

任意の場所のホワイトバランスを測定します。

1 「ホワイトバランスを設定する」(p.63)の手順2で
☐を選択

2 ☺で1~3を選択



3 測定する照明の下で白い被写体を選択し、**SHUTTER**
全押し
撮影画像表示

4 ▲▼◀▶で測定範囲を指定
○で中央に戻る



5 **OK**を押す
ホワイトバランス設定画面に戻る
測定できなかったときは、「正しく処理できませんでした」と表示。**OK**で再測定

メモ

- 再生モードパレット「マニュアルWB登録」で、撮影済み画像のホワイトバランスを☐1~☐3に登録できます。(p.76)

色温度でホワイトバランスを調整する

色温度でホワイトバランスを指定します。

1 「ホワイトバランスを設定する」(p.63)の手順2で
Kを選択

2 ☺で1~3を選択

3 **INFO**を押す

4 色温度を調整
2500~10000Kの範囲で設定



ボタン・ダイヤル操作

☺	100ケルビン単位
☺	1000ケルビン単位
▲▼◀▶	微調整

5 **OK**を押す
ホワイトバランス設定画面に戻る

メモ

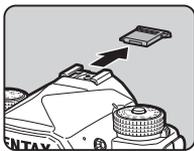
- C3メニュー「18色温度ステップ」で「ミレッド」に設定すると、ミレッド単位で色温度が設定できます。☺で20ミレッド単位、☺で100ミレッド単位で変更ができます。その場合も、画面表示はケルビン換算で表示されます。

フラッシュを使用する

別売の外付けフラッシュを接続してフラッシュ撮影を行います。

フラッシュを接続する

カメラのホットシューカバーを外して外付けフラッシュを取り付けます。



メモ

- 外付けフラッシュの機能については、「外付けフラッシュ利用時の機能」(p.111)を参照してください。

フラッシュモードを設定する



1 **Q1**メニュー「フラッシュモード」を選択、**▶**を押す
フラッシュモード画面が表示

2 フラッシュモードを選択



Q1 自動発光	周りの明るさを自動測定し、発光をカメラが判断
Q2 赤目軽減 自動発光	自動発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
Q3 強制発光	常に発光
Q4 赤目軽減 強制発光	強制発光前に赤目軽減のための予備発光を行う

Q5 スローシンクロ	遅いシャッター速度に設定 夕景などを背景に人物撮影をする ときなどに利用
Q6 赤目軽減 スローシンクロ	スローシンクロ発光前に、赤目軽減のための予備発光を行う

ボタン・ダイヤル操作

- 光量補正
- リセット

3 **OK**を押す

4 **MENU**を押す
撮影待機状態に戻る

メモ

- 撮影モードによって選択できるフラッシュモードが異なります。

撮影モード	選択可能なフラッシュモード
AUTO	Q1 / Q2 / Q3 / Q4
P / Sv / Av	Q3 / Q4 / Q5 / Q6
Tv / TA_v / M / B / X	Q3 / Q4

- Av**モードでのフラッシュ撮影は、使用レンズによって1/200秒から低速側までシャッター速度が変化します。D FA/DA/DAL/FA/FAJ/Fレンズ以外を使用した場合は、シャッター速度は1/200秒固定です。
- Tv**/**TA_v**/**M**モードでのフラッシュ撮影は、1/200秒以下のシャッター速度が設定できます。
- Fx1**/**Fx2**に「フラッシュモード」を割り当てると、ボタンの操作で手順2の画面を表示することができます。(p.98)

仕上がりイメージを決めて撮影する

カスタムイメージ

1 撮影待機状態で▶を押す
カスタムイメージ設定画面が表示

2 画像仕上を選択



オートセレクト	ほのか
鮮やか	フラット
ナチュラル	銀残し
人物	リバーサルフィルム
風景	モノトーン
雅 (MIYABI)	クロスプロセス
ポップチューン	

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

電源レバー 設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー

AE-L プレビュー画像を保存 (保存可能時のみ)

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 **INFO** を押す
パラメーター設定画面が表示

4 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ パラメーター選択

◀▶ 値調整

コントラスト/コントラストハイライト調整/コントラストシャドウ調整切り替え

シャープネス/ファインシャープネス/エクストラシャープネス切り替え (📷モード時は不可)

○ リセット

5 **OK** を押す
手順2の画面に戻る
パラメーターの設定値が表示

6 **OK** を押す
撮影待機状態に戻る

●注意

- **AUTO**モードのときは、「オートセレクト」固定です。
- ドライブモードが多重露出/インターバル撮影のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はできません。

4 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ パラメーター選択

◀▶ 値調整

5 OKを押す

手順2の画面に戻る

6 OKを押す

7 MENUを押す

撮影待機状態に戻る

●注意

- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.107)
- ドライブモードが多重露出/インターバル撮影のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はできません。
- フィルターによっては、保存に時間がかかります。

●メモ

- 撮影後にデジタルフィルターで加工することもできます。(p.83)

補正して撮影する

明るさを補正する

ハイライト補正/シャドー補正



ダイナミックレンジを拡大し、表現できる階調の幅を広げて白とび/黒つぶれを防ぎます。

📷2/📷2メニュー「D-Range設定」で設定します。

●注意

- ISO感度をISO 200未満に設定すると、ハイライト補正をオンに設定することはできません。

●メモ

- 📷モードのときのハイライト補正は、オート/オフが設定できます。

HDR撮影



露出が異なる3枚の画像を撮影して合成します。

1 📷3メニュー「HDR撮影」を選択、▶を押す
「HDR撮影」画面が表示

2 タイプを選択、OKを押す



3 「振り幅設定」で露出を変化させる幅を選択
±1EV/±2EV/±3EVから選択

4 「自動位置調整」を設定

<input checked="" type="checkbox"/>	自動位置調整を行う
<input type="checkbox"/>	自動位置調整を行わない

5 MENU を2回押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- スマートファンクションで HDR のタイプを変更することもできます。(p.19)

注意

- B / X /  モードではHDR撮影はできません。
- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.107)
- ドライブモードがインターバル撮影/インターバル動画に設定されているときは、「自動位置調整」はオフ固定です。
- 「自動位置調整」をオフに設定したときは、4メニュー「Shake Reduction」はオフ固定です。
- HDR撮影は画像を合成するため、保存に時間がかかります。

手ぶれを補正する



本機に内蔵されている Shake Reduction ユニットを利用して、手ぶれを防ぎます。4メニュー「Shake Reduction」で設定します。

メモ

- スマートファンクションでオン/オフを切り替えることもできます。(p.19)
- Fx1** / **Fx2** に「Shake Reduction」を割り当てると、ボタンの操作でオン/オフを切り替えることができます。(p.98)

レンズ特性を補正する



4メニュー「レンズ補正」で以下の補正ができます。



ディストーション補正	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正
周辺光量補正	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正
倍率色収差補正	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正
回折補正	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正

メモ

- レンズ補正に対応しているレンズを装着しているときだけ設定できます。(p.108) また、カメラとレンズの間にリアコンバーターなどのアクセサリを装着した場合は、設定は無効です。
- 2メニュー「記録設定」の「記録形式」がRAW / RAW+ の場合は、補正情報がRAWファイルのパラメーターに記録され、RAW展開時にオン/オフが選択できます。また、RAW展開時には「フレージ補正」が設定できます。(p.85)

注意

- DA★200mm F2.8 ED [IF] SDM / DA★300mm F4 ED [IF] SDM / DA 560mm F5.6 ED AWJ以外のDA / DA Lレンズを装着して2 / 1メニュー「クロップ」の「35ミリフルサイズ」を設定している場合は、レンズ補正は設定できません。

画質・質感を補正する

明瞭コントロール



画像処理で凹凸感や質感を-4～+4で変更できます。☑3メニュー「明瞭コントロール」で設定します。



肌色補正



人物の肌の質感を向上させます。☑3メニュー「肌色補正」でType1/Type2が選択できます。



Real Resolution



「Real Resolution (リアル・レゾリューション・システム)」では、Shake Reductionユニットを移動して1画素ずつずらした4枚の画像を合成することで、静止物の撮影で高精細な画像を得ることができます。

☑3メニュー「Real Resolution」で設定します。



動体補正オン	動体を検出したときに、モザイク状のノイズを補正して画像を合成
動体補正オフ	画像全体を合成
オフ	Real Resolutionオフ

撮影を行うと、4枚の画像が順に表示された後、合成処理が行われます。

●注意

- 以下のときは、Real Resolutionは利用できません。
 - B/Xモード
 - 動画モード
- 一部の機能とは組み合わせできません。(p.107)
- ☑4メニュー「Shake Reduction」は、オフ固定です。

●メモ

- [Fn1]/[Fn2]に「Real Resolution」を割り当てると、ボタンの操作で設定を切り替えることができます。(p.98)
- 撮影時に動いている被写体があると、モザイク状のノイズが生じることがあります。その場合は、「動体補正オン」に設定してください。
- 撮影時は、三脚などでカメラをしっかりと固定してください。ドライブモードのセルフタイマー/リモコン/ミラーアップ撮影の利用をお勧めします。

Shake Reductionユニットを振動させることによって、ローパスフィルターのようなモアレ低減効果を得ることができます。

1 カメラメニュー「ローパスセクター」を選択、▶を押す

2 タイプを選択、OKを押す



Type1	解像とモアレ低減のバランスをとって撮影
Type2	モアレ低減優先
ブラケット撮影	オフ / Type1 / Type2の順に3枚連続して撮影

注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.107)
- 以下のときは「ブラケット撮影」は選択できません。
 - Bモード
 - ドライブモードが1コマ撮影 / セルフタイマー (12秒 / 2秒) / リモコン (即時 / 3秒後) 以外のとき
 - HDR撮影
- シャッター速度が1/1000秒より高速な場合は、十分な効果が得られません。

Shake Reductionユニットを移動させることによって、構図の位置と傾きを補正します。ライブビュー撮影時に、三脚にカメラを固定した状態で構図を調整したいときなどに使用します。

1 カメラメニュー「構図微調整」でONを選択

2 MENUを押す
撮影待機状態に戻る

3 [LV]を押す
ライブビューになり、「構図を調整してください」と表示

4 構図を調整する
補正量のステップ数が画面右上に表示



ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|------|------------------------------------|
| ▲▼◀▶ | 構図を移動 (最大24ステップ) |
| ☂ | 傾きを補正 (最大8ステップ。移動量が17ステップ以上のときは不可) |
| ○ | リセット |

5 OKを押す
ライブビューの撮影待機状態に戻る

● 注意

- 「アストロトレーサー」設定時は、構図微調整はできません。

● メモ

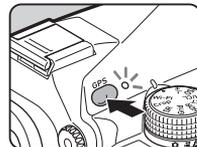
- 構図微調整位置は、ライブビューを終了したり電源を切っても記憶されています。ライブビュー終了後に調整位置をリセットしたい場合は、**5**メニュー「モードメモリ」で「構図微調整範囲」をオフに設定します。(p.103)

GPSを利用する

本機に内蔵されているGPSユニットで、以下の機能が利用できます。

GPSログ	定期的受信した測位結果をメモリーカードに保存 (p.74)
アストロトレーサー	天体を追尾して撮影 (p.75) 内蔵されているShake Reductionユニットを天体の動きに合わせて動かすことによって、長時間露光でも天体を点状に撮影
自動時刻修正	GPS衛星から取得した情報を利用して、カメラの日時設定を補正

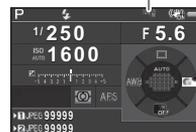
GPS を押すとGPSランプが点灯し、GPSがオンになります。もう一度押すと、オフになります。



ステータススクリーン／ライブビューでGPS測位の状態が確認できます。

GPS測位状態

緑	3D測位
黄	2D測位
赤	未測位



GPSがオンの状態で静止画を撮影すると、画像にGPS情報が記録されます。動画には記録されません。GPS情報は、再生モードの「詳細情報表示」で確認できます。(p.15)

●注意

- GPSがオンになっていると、バッテリーの消耗が早くなります。
- 近くに磁石等の磁界を発生するものや鉄などの磁性体があると、電子コンパスが正しく表示されない場合があります。
- 画像に記録されたGPS情報は消去できません。SNSへの投稿などで位置情報を公開したくない場合は、GPSをオフにして撮影してください。
- 別売のGPSユニット O-GPS1は利用できません。
- その他のGPSに関する注意事項は、「GPSについて」(p.129)を参照してください。

●メモ

- GPS情報が取得できているときは、協定世界時 (UTC) が撮影日時として画像に記録されます。電子コンパス画面 (p.14) には、協定世界時と撮影場所の時差を補正した時刻が表示されます。

キャリブレーションを実行する



GPSユニットを正常に動作させるため、キャリブレーションを実行します。

1 2メニュー「GPS/電子コンパス」を選択、▶を押す
「GPS/電子コンパス」画面が表示

2 「キャリブレーション」で▶
を押す
「キャリブレーション」画面が表示



3 画面の指示に従って、カメラを回転させる

終了すると、処理結果が表示



4 OKを押す

手順2の画面に戻る

「正しく処理できませんでした」と表示されたときは、カメラを向ける方角を変えて再度実行

●注意

- キャリブレーションを行うときは、ストラップを手首に巻くなどしてカメラを落とさないように注意してください。
- バッテリーを入れ直したときは、キャリブレーションをやり直してください。
- キャリブレーション実行後に、レンズ交換や画像モニターの角度を変更すると、磁場環境に影響することがあります。その場合は、キャリブレーションを再度実行してください。

●メモ

- 手順2の画面の「自動時刻修正」がオンになっていると、カメラの日時設定が自動的に修正されます。

移動経路を記録する (GPSログ)



1 2メニュー「GPS / 電子コンパス」を選択、▶を押す

「GPS / 電子コンパス」画面が表示

2 「GPSログ」で▶を押す

「GPSログ」画面が表示
自動的にGPSがオンになる

3 記録条件を設定



記録間隔	5秒 / 10秒 / 15秒 / 30秒 / 1分から選択
記録時間	1~24時間で設定 (「記録間隔」が「5秒」時は1~9時間、「10秒」時は1~18時間)
カードスロット設定	SD1 / SD2を選択

4 「GPSログ」で▶を押す

確認画面が表示

5 「開始」を選択、OKを押す

GPSログの記録が開始
手順3の画面に戻る

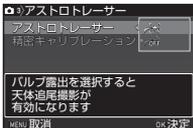
●注意

- パソコンとUSB接続しているときは、GPSログは記録できません。

●メモ

- GPSログの記録中は、ステータススクリーン/ライブビューのGPS測位状態アイコンの下に「LOG」と表示されます。「記録時間」が経過すると「LOG END」と表示され、GPSログが保存されます。
- GPSログの記録を中止するときは、手順5で「終了」を選択します。GPSログが保存されます。
- GPSを押してGPSをオフにしたときは、記録が一時的に停止します。(「記録時間」は継続) GPSがオンになったら、記録を再開します。
- 手順3の画面の「GPSログ」に「LOG END」と表示されているときは、保存されていないGPSログがあります。手順5で「保存」を選択すると、GPSログが保存されます。また、バッテリー残量が低下して電源がOFFになったときや、バッテリーを交換したときにも「LOG END」が表示されます。その場合は、GPSログを保存してからGPSログを再開してください。
- GPSログの記録中は、記録間隔 / 記録時間を変更することはできません。
- ログファイル (KML形式) は、メモリーカード直下の「GPSLOG」フォルダー内に、001~999の連番と月日 (例: 001_0505) のファイル名で保存されます。保存時に有効なデータがない場合は、フォルダーとファイルは作成されません。また、「999_****」のログファイルが保存されている場合は、新たなログファイルは保存できません。
- ログファイルはパソコンに転送し、Google Earth などに取り込んで移動軌跡を表示できます。

アストロトレーサーを設定する

- 1 **GPS** を押す
- 2 **📷3**メニュー「アストロトレーサー」を選択、▶を押す
「アストロトレーサー」画面が表示
- 3 「アストロトレーサー」で▶を押す
- 4 **ON**を選択、**OK**を押す

- 5 「精密キャリブレーション」で▶を押す
「精密キャリブレーション」画面が表示
キャリブレーションの方法は「キャリブレーションを実行する」(p.73)を参照
- 6 **OK**を押す
「アストロトレーサー」画面に戻る
- 7 **MENU**を2回押す
撮影待機状態に戻る

📌注意

- ・撮影場所によって磁場環境が異なるため、アストロトレーサー撮影を行うときは、撮影場所で「精密キャリブレーション」を実行してください。
- ・精密キャリブレーション実行後に、レンズ交換や画像モニターの角度を変更すると、磁場環境に影響することがあります。その場合は、精密キャリブレーションを再度実行してください。

アストロトレーサーで撮影する

- 1 露出モードを**B**、フォーカスモードを**MF**に設定する
- 2 撮影条件を設定



ボタン・ダイヤル操作

- タイマー露光オン/オフ切り替え
-  (タイマー露光オン) 露光時間0'10"~5'00"変更
-  絞り値変更
- ☑** 精密キャリブレーション実行

- 3 ピントを合わせ、**SHUTTER**全押し
撮影開始
- 4 もう一度**SHUTTER**全押し
撮影終了
「タイマー露光」を設定した場合は、設定した時間が経過すると自動的に撮影が終了

📌注意

- ・一部の機能とは組み合わせができません。(p.107)

再生モードパレットの設定項目

再生に関する機能は、1メニュー (p.27) のほかに、再生モードパレットで指定します。

再生モードパレットは、再生モードの1画像表示のときに▼を押すと表示されます。



項目	機能	参照
画像回転 *1	画像の回転情報を変更	p.79
デジタルフィルター *1	デジタルフィルターで加工	p.83
色モアレ補正 *1 *2	色モアレが発生した画像を補正	p.82
リサイズ *1 *2	画像の記録サイズを変更	p.81
トリミング *1	画像の必要な部分だけを切り取り	p.82
プロテクト	画像を誤って消去しないように保護	p.103
スライドショー	画像を連続再生	p.79
マニュアルWB登録 *1	撮影済み画像のホワイトバランス設定値をマニュアルホワイトバランスに登録	p.64
クロスプロセス登録	カスタムイメージのクロスプロセスで撮影した画像の設定値をお気に入りに登録	p.67
RAW展開 *3	RAW画像をJPEGに変換して保存	p.85
動画編集 *4	動画を分割または不要部分を消去	p.84
画像コピー	SD1とSD2のカード間で画像をコピー	p.81

- *1 TIFF画像／動画表示時は実行不可
- *2 RAW画像／TIFF画像表示時は実行不可
- *3 RAW画像保存時のみ実行可能
- *4 動画表示時のみ実行可能

メモ

- 再生モードパレットの機能は、再生中のメモリーカードスロットの画像に対して実行されます。1画像表示のときに、で再生スロットを切り替えてから再生モードパレットを表示してください。

再生方法を変更する

複数画像を表示する

画像を複数枚（6/12/20/35/80画像）ずつ表示します。

- 1 再生モードで  を左に回す
複数画像が表示



ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|---|------------|
|  | 選択枠を移動 |
|  | ページ切り替え |
|  | 再生スロット切り替え |

- | | |
|---|----------------|
|  | 複数画像表示
選択画面 |
|---|----------------|



- | | |
|---|------|
|  | 選択消去 |
|---|------|

- 2 **OK** を押す
選択画像が1画像表示

選択して消去する

- 1 「複数画像を表示する」(p.77) の手順1の画面で  を押す
- 2 消去画像を選択



ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|---|------------|
|  | 選択枠を移動 |
|  | 消去画像を選択/解除 |
|  | 範囲指定 |
|  | 選択画像を1画像表示 |
|  | で画像切り替え |

画面左上には選択画像数が表示

- 3  を押す
消去の確認画面が表示

- 4 「消去」を選択、**OK** を押す

メモ

- 一度に選択できるのは、500画像までです。
- プロテクトされている画像は選択できません。
- 1画像ずつの指定と範囲指定が併用できます。
- 複数画像の選択方法は、以下の設定時も同様です。
 - 画像コピー (p.81)
 - RAW展開 (p.85)
 - プロテクト (p.103)

フォルダーごとに表示する

- 1 「複数画像を表示する」(p.77) の手順1の画面で
☂を左に回す
フォルダーが表示



ボタン・ダイヤル操作

-
- ▲▼◀▶ 選択枠を移動

 - ☂ フォルダー消去

- 2 **OK** を押す
フォルダー内画像が表示

フォルダーを消去する

- 1 「フォルダーごとに表示する」(p.78) の手順1の画面で消去フォルダーを選択、☂を押す
消去の確認画面が表示
- 2 「消去」を選択、**OK** を押す
フォルダーとフォルダー内画像が消去
フォルダー内にプロテクトされた画像があった場合は、すべて消去／すべて残すを選択

撮影日ごとに表示する

撮影した日付ごとに画像を表示します。

- 1 「複数画像を表示する」(p.77) の手順1で **INFO** を押す
複数画像表示選択画面が表示
- 2 「撮影日別表示」を選択



撮影日 サムネイル

ボタン・ダイヤル操作

-
- ▲▼ 撮影日選択

 - ◀▶ 撮影日内の画像を選択

 - ☂ 右 選択画像を1画像表示

 - ☂ 選択画像を消去

- 3 **OK** を押す
選択画像が1画像表示

連続して再生する（スライドショー）

1 再生モードパレットで を選択

スライドショー開始



ボタン・ダイヤル操作

OK	一時停止／再開
	前の画像を表示
	次の画像を表示
	停止
	動画の音量調節

全画像の再生が終了すると、1画像表示に戻る

メモ

- 1メニュー「スライドショー」で、スライドショーの表示間隔／画面効果／繰り返し再生／動画自動再生について変更ができます。この画面からスライドショーを開始することもできます。「動画自動再生」をオフにしたときは、スライドショー再生中に **OK** を押すと動画が再生されません。



画像を回転して表示する

縦位置で撮影すると、画像に回転情報が付加されます。1メニュー「画像表示」の「画像の自動回転」がオン（初期設定）に設定されているときは、再生時に回転情報に従って表示されます。

回転情報は、以下の手順で変更できます。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで を選択 画像を90°ずつ回転させた画面が表示

3 ▲▼◀▶で回転方向を選択、**OK**を押す 回転情報が更新、1画像表示に戻る



注意

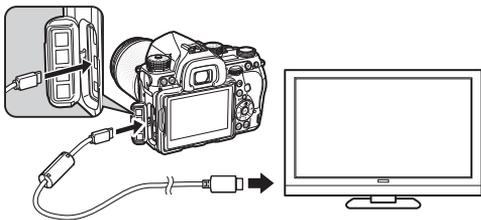
- C4メニュー「22 回転情報の記録」をオフに設定した状態で撮影すると、画像に回転情報が付加されません。
- 次のときは、回転情報を変更できません。
 - プロテクトされた画像
 - 回転情報タグがない画像
- 1メニュー「画像表示」の「画像の自動回転」がオフに設定されているとき
- 動画は回転できません。

AV機器と接続する

HDMI端子を備えたテレビなどと接続し、撮影時にライブビュー画像を表示したり、再生モードで再生ができます。HDMI端子（タイプD）を備えた市販のHDMIケーブルを用意してください。

1 AV機器とカメラの電源を切る

2 カメラの端子カバーを開き、HDMI端子にケーブルを接続する



3 ケーブルのもう一方の端子をAV機器の映像入力端子に接続する

4 AV機器とカメラの電源を入れる

カメラがHDMIモードで起動、AV機器にカメラの情報が表示

●注意

- AV機器と接続中は、カメラの画像モニターは表示されません。また、カメラで音量調節はできません。AV機器側で音量を調節してください。

●メモ

- ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続する映像入力端子を選択してください。
- 出力方式は、AV機器とカメラが対応する最大サイズが自動で選択されます。うまく映らない場合は、メニュー「HDMI出力」で設定を変更してください。
- 長時間使用するときには、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。(p.35)

画像を加工・編集する

画像をコピーする

SD1とSD2のメモリーカード間で画像をコピーします。

- 1 コピー元のメモリーカードの画像を1画像表示
- 2 再生モードパレットで **☐** を選択
- 3 画像選択／フォルダー選択を選択、**OK** を押す
- 4 画像／フォルダーを選択
画像の選択方法は「選択して消去する」(p.77) の手順2を参照
- 5 **INFO** を押す
保存の確認画面が表示
- 6 コピー先を選択、**OK** を押す

画像のサイズを変更する

●注意

- ・リサイズ／トリミングが実行できるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。
- ・すでに最小サイズにリサイズ／トリミングされた画像は実行できません。

記録サイズを変更する（リサイズ）

画像の記録サイズを変更して新規保存します。

- 1 1画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで **☐** を選択
記録サイズ選択画面が表示
- 3 **◀▶** で記録サイズを選択、**OK** を押す
元の画像より小さいサイズから選択可能
保存の確認画面が表示
- 4 SD1に保存／SD2に保存を選択、**OK** を押す



画像の一部を切り取る（トリミング）

画像の必要部分だけを切り取って新規保存します。

- 1 画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで  を選択
トリミング範囲指定画面が表示
- 3 トリミングする大きさ／範囲を指定



ボタン・ダイヤル操作



トリミングサイズ変更



トリミング範囲移動



アスペクト比／画像回転設定



トリミング範囲回転（可能時のみ）

- 4 **OK** を押す
保存の確認画面が表示
- 5 **SD1**に保存／**SD2**に保存を選択、**OK** を押す

色モアレを補正する

色モアレが発生した画像を補正します。

- 1 画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで  を選択
補正できない画像の場合は、「この画像を処理できません」と表示
- 3   で強度を選択、**OK** を押す
保存の確認画面が表示



- 4 **SD1**に保存／**SD2**に保存を選択、**OK** を押す

●注意

- 色モアレ補正ができるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。

デジタルフィルターで加工する

- 1 画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで **OK** を選択
フィルター選択画面が表示
- 3 フィルターを選択
☀️ で画像切り替え



ベースメイク	デッサン
色抽出	水彩画
色の置換え	パステル
トイカメラ	ポストリゼーション
レトロ	ミニチュア
ハイコントラスト	ソフト
シェーディング	クロス
ネガポジ反転	フィッシュアイ
ソリッドモノカラー	スリム
ハードモノクローム	モノトーン
ドラマチックアート	

パラメーターの変更が不要なときは、手順4へ

- 4 **INFO** を押す
パラメーター設定画面が表示

5 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

-
- ▲▼ パラメーター選択
-
- ◀▶ 値調整
-

- 6 **OK** を押す
手順3の画面に戻る

- 7 **OK** を押す
保存の確認画面が表示

- 8 フィルターを重ねる / SD1に保存 / SD2に保存を
選択、**OK** を押す
続けて他のフィルターを重ねて指定する場合は「フィル
ターを重ねる」を選択。手順3の画面に戻る

●注意

- デジタルフィルターで加工できるのは、本機で撮影した
JPEG / RAW画像のみです。
- 撮影時にHDR撮影 / Real Resolutionを設定したRAW画像
を、デジタルフィルターで加工することはできません。

●メモ

- フィルターは撮影時に設定したデジタルフィルター (p.67)
も含めて、20回まで重ねることができます。

フィルターを再現する

フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じフィルターを適用します。

- 1 画像表示でデジタルフィルター画像を表示
- 2 再生モードパレットで **0** を選択
- 3 「フィルターを再現する」を選択、**OK** を押す
選択画像に設定済みのフィルターの履歴が表示



- 4 パラメーターを確認する場合は **INFO** を押す
再度 **INFO** を押すと元の画面に戻る



- 5 **OK** を押す
画像選択画面が表示

- 6  でフィルター処理する画像を選択、**OK** を押す
同じメモリーカード内のフィルター処理されていない画像のみ選択可能
保存の確認画面が表示



- 7 SD1に保存／SD2に保存を選択、**OK** を押す

メモ

- 手順3で「元画像を探す」を選択すると、デジタルフィルターを設定する前の画像を呼び出すことができます。

動画を編集する

- 1 画像表示で対象動画を表示
- 2 再生モードパレットで  を選択
動画編集画面が表示
- 3 分割箇所を指定
画面上部に分割位置の先頭コマが表示
4箇所（5分割）まで指定可能



ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|---|--------------|
|  | 再生／一時停止 |
|  | (一時停止中) コマ送り |
|  | 長押し 早送り再生 |
|  | (一時停止中) コマ戻し |
|  | 長押し 早戻し再生 |
|  | 音量調節 |
| INFO | 分割位置指定／解除 |

消去しない場合は、手順7へ

- 4  を押す
消去指定画面が表示
- 5  で選択枠を移動、**OK** を押す
消去範囲を選択（複数選択可能）
再度 **OK** を押すと、選択解除



- 6 **MENU** を押す
手順3の画面に戻る

7 OKを押す

保存の確認画面が表示

8 SD1に保存／SD2に保存を選択、OKを押す

メモ

- 分割位置は、動画の時系列に沿って先頭から順に指定します。分割位置を解除するときは、逆方向（後ろから前）に順に指定します。途中に分割位置を追加／解除はできません。

RAW展開

RAW画像をJPEG／TIFF形式に変換して保存します。

1 再生モードパレットでRAWを選択

処理単位の選択画面が表示

2 処理単位を選択、OKを押す

1画像選択	1枚のみ展開
複数画像選択	最大500枚までの画像を同一設定で展開
フォルダー選択	1フォルダー内の画像を最大500枚まで同一設定で展開

「1画像選択」は手順6へ

画像選択／フォルダー選択画面が表示

3 画像／フォルダーを選択

画像の選択方法は「選択して消去する」(p.77)の手順2を参照

フォルダーを選択した場合は手順5へ

4 INFOを押す

パラメーター設定方法の選択画面が表示

5 パラメーター設定方法を選択、OKを押す



撮影時の設定で展開	記録形式／アスペクト比／JPEG記録サイズ／JPEG画質／色空間のみ設定
設定を変更して展開	全パラメーターが設定可能

パソコンで利用する

USBケーブルを使用してパソコンと接続します。
micro B 端子を備えた市販のUSBケーブルを用意してください。

接続モードを設定する



パソコンで行う操作によって、**1**メニュー「USB接続」を設定します。

MSC (初期設定)	カメラをリムーバブルディスクとしてパソコンで認識させ、メモリーカードのデータをパソコンにコピー (p.87)
PTP	パソコンからカメラを操作し、テザー撮影 (p.88)

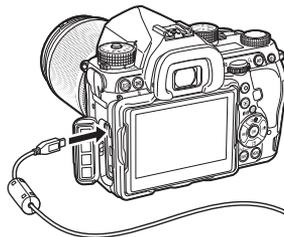
設定した接続モードは、表示パネルで確認ができます。(p.18)

メモ

- 本機との接続と付属ソフトウェアの使用に必要なパソコンのシステム環境については、「USB接続と付属ソフトウェアの動作環境」(p.121)を参照してください。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。(p.35)

メモリーカードの画像をコピーする

- 1** **1**メニュー「USB接続」を「MSC」に設定する
- 2** カメラの電源を切る
- 3** カメラの端子カバーを開き、USB端子にUSBケーブルを接続する



- 4** USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する
- 5** カメラの電源を入れる
カメラがリムーバブルディスクとしてパソコンに認識
- 6** カメラの画像をパソコンに保存
- 7** カメラをパソコンから取り外す

注意

- パソコンと接続中は、カメラの操作はできません。操作を行うときは、パソコンでUSB接続を終了してからカメラの電源を切り、USBケーブルを抜いてください。
- 手順5でパソコンの画面に「K-1」ダイアログが表示された場合は、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択してOKボタンをクリックします。

パソコンから本機を操作する

別売の「IMAGE Transmitter 2」を利用すると、パソコンから本機を操作して撮影する「テザー撮影」ができます。また、撮影しながら、直接パソコンに画像を保存することもできます。

- 1 2メニュー「USB接続」を「PTP」に設定する
- 2 カメラの電源を切る
- 3 USBケーブルで本機とパソコンを接続する
「メモリーカードの画像をコピーする」(p.87)の手順3~4参照
- 4 カメラの電源を入れる
- 5 パソコンで「IMAGE Transmitter 2」を起動する
IMAGE Transmitter 2が起動し、本機を認識

注意

- ・静止画/動画切替レバーがになっているときは、テザー撮影はできません。

メモ

- ・「IMAGE Transmitter 2」の詳細は、下記アドレスで公開している『使用説明書【操作編】』を参照してください。
<http://www.ricoh-imaging.com/manuals/>

通信端末で利用する

本機はWi-Fi機能を内蔵しており、無線LAN経由でスマートフォンやタブレットなどの通信端末と直接接続し、本機を操作したり画像を共有することができます。

Wi-Fiを有効にする

電源を入れたときは、Wi-Fi機能は無効になっています。以下のいずれかの操作で有効に設定します。

- ・メニューで設定する (p.89)
- ・スマートファンクションで設定する (p.89)

Wi-Fi機能が有効になると、Wi-Fiランプが点灯し、ステータススクリーン/ライブビューに無線LANの通信状態を表すアイコン (白)が表示されます。 (グレー)が表示されているときは、通信端末と正しく接続されていません。



メモ

- ・Wi-Fi機能が有効に設定しても、電源を入れ直すと無効に戻ります。また、モードにすると、Wi-Fiは無効になります。
- ・Wi-Fiの通信状態が接続中/画像転送中のときは、オートパワーオフは動きません。未接続/待機中にオートパワーオフに移行したときは、Wi-Fi機能は無効になります。オートパワーオフから復帰すると、有効になります。
- ・USB接続中は、Wi-Fi機能は無効です。

注意

- ・航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、Wi-Fiを使用しないでください。
- ・Wi-Fiを使用するにあたっては、使用する国の法律を遵守してください。
- ・無線LAN機能を内蔵したメモリーカード (Eye-FiカードやFLUカードなど) を利用する場合は、電波が干渉することがあるため、本機のWi-Fiを無効に設定してください。

1 2メニュー「Wi-Fi」を選択、▶を押す
「Wi-Fi」画面が表示

2 「動作モード」をオンに設定
Wi-Fiを無効にするときはオフに
設定



3 MENUを2回押す

メモ

- 手順2の画面の「通信情報」で、無線LANのSSID/パスワード/MACアドレスが確認できます。また「通信設定のリセット」で、設定を初期状態に戻すことができます。

スマートファンクションで設定する

1 機能ダイヤルを「Wi-Fi」に
合わせる



2 設定ダイヤルを回す
オン/オフ切り替え

通信端末で操作する

本機と通信端末をWi-Fiで直接接続し、専用アプリ「Image Sync」を使って以下の機能が利用できます。

リモート撮影	通信端末に本機のライブビュー画像を表示し、通信端末を操作して露出設定や撮影を行う
画像閲覧	本機のメモリーカードに保存されている画像を通信端末に表示し、画像を取り込む

Image SyncはiOSとAndroidに対応しています。Image Syncは、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしてください。対応OSなどの詳細は、ダウンロードサイトを参照してください。

メモ

- 本書に掲載しているImage Syncの画面イラストは開発途中のものであり、実際の画面と異なる場合があります。また、アプリのバージョンアップ等により画面構成などが変更されることがあります。
- 通信端末の操作については、お使いの機器の使用説明書等を参照してください。

通信端末とカメラを接続する

本機と通信端末をWi-Fiで接続し、通信端末にインストールしたImage Syncを起動します。

Android端末の場合

1 通信端末で無線LAN (Wi-Fi) 機能をオンに設定する

2 通信端末でImage Syncを起動する

通信端末に「機種選択画面」が表示

3 「PENTAX K-1」をタップする

通信端末に「SSID選択」画面が表示



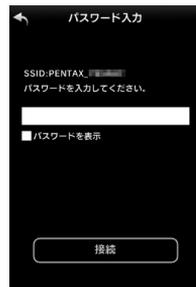
4 「SSID一覧」で「PENTAX_xxxxxx」をタップする

「パスワード入力」画面が表示



5 パスワードを入力し、「接続」をタップする

通信端末と本機がWi-Fiで接続
Image Syncの画面に画像一覧が表示



メモ

- パスワードの初期設定は、メニュー「Wi-Fi」の「通信情報」で確認できます。(p.89)

iOS端末の場合

- 1 通信端末で無線LAN(Wi-Fi)機能をオンに設定する
- 2 検出されたネットワークの一覧から「PENTAX_xxxxxx」をタップする
- 3 パスワードを入力し、「接続」をタップする
通信端末と本機がWi-Fiで接続

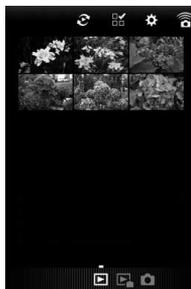


- 4 通信端末でImage Syncを起動する
Image Syncが起動し、画像一覧が表示

Image Syncの画面

画面を左右にフリックすると、動作モードが切り替わります。

アプリ画像一覧



カメラ画像一覧



カメラモード

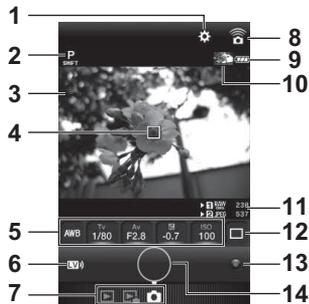


メモ

- 画面下に表示されているアイコンをタップして動作モードを切り替えることもできます。

通信端末から撮影する

Image Syncの撮影画面では、カメラのライブビュー画像と撮影に関するボタンが表示されます。

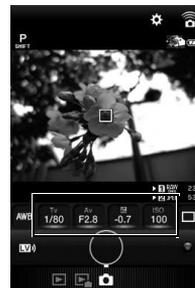


- 1 設定 (p.96)
- 2 撮影モード
- 3 ライブビュー
- 4 AF枠
- 5 ホワイトバランス/シャッター速度/絞り値/露出補正/ISO感度
- 6 ライブビューオン/オフ切り替え
- 7 動作モード切り替え
- 8 通信アイコン
- 9 バッテリー残量
- 10 直前に撮影した画像のサムネイル
タップすると、カメラ画像一覧画面を表示
- 11 メモリーカードスロット/記録形式/撮影可能枚数
- 12 ドライブモード
- 13 グリーンボタン
- 14 シャッターボタン

- 1 カメラで基本的な設定を行う
- 2 Image Syncの撮影画面でライブビューを確認する



- 3 必要に応じてImage Syncで設定を変更する



項目をタップし、一覧から値を選択



4 フォーカスモードが**AF**のときは、ライブビュー画像内のフォーカスする位置をタップする
タップした位置でオートフォーカスが作動

5 シャッターボタンをタップ
撮影画像がサムネイルに表示

注意

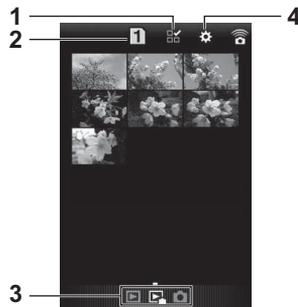
- 以下のときは、Image Syncから撮影できません。
 - モード
 - ドライブモードが「1コマ撮影」以外の場合
 - USB/HDMI接続中
 - アストロトレーサー
- 撮影された画像は、カメラのメモリーカードに保存されます。メモリーカードの空き容量が足りない場合は、撮影ができません。

メモ

- ライブビュー画像内をタップして撮影することもできます。「設定」画面の「タッチAF」で設定します。(p.96)
- Image Syncから撮影するときは、●1メニュー「コントラストAF」の「コントラストAFの動作」の設定にかかわらず、「リリース優先」で動作します。

画像を開覧する

通信端末またはカメラ内の画像を開覧できます。



- 1 複数画像選択
- 2 再生スロット切り替え (カメラ画像一覧のみ)
- 3 動作モード切り替え
- 4 設定 (p.96)

画像をタップすると、画像と撮影情報が表示されます。



タッチ操作

左右フリック	画像切り替え
ピンチアウト/ピンチイン	拡大/縮小

アルバムの切り替え

アプリ画像一覧画面で、アプリ内の画像を表示するかギャラリー（またはカメラロール）の画像を表示するかを切り替えます。

1 をタップする



2 アルバムを選択する 選択した場所の画像が表示



複数画像の選択

1 𠄎をタップする



2 選択する画像をタップする
青のチェックマークが表示



3 いずれかの画像を長押しする

4 動作を選択する



メモ

- 一覧表示／撮影情報表示のときにも対象の画像上で長押しすると手順4の画面が表示され、動作が選択できます。

5
共有

設定を変更する

1 設定アイコンをタップする



「設定」画面が表示



以下の設定が可能

タッチAF	ライブビュー内をタッチしたときに、オートフォーカスだけを行うかオートフォーカス後に撮影するかを選択
記録設定	カードスロット設定／記録形式／JPEG記録サイズを変更
一般設定	通信設定／言語設定を変更

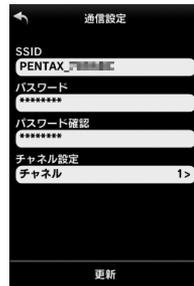
2 通信設定や言語表示を変更するときは「一般設定」をタップ

3 設定する項目をタップ

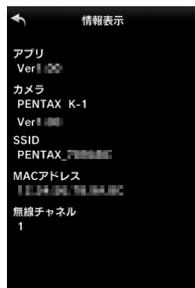


通信設定

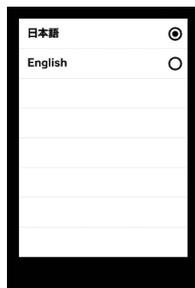
パスワードと無線チャンネルの変更が可能



情報表示



言語設定



4 設定が終わったら ← をタップ

カメラの設定

ボタン／ダイヤルをカスタマイズする



ボタンの動作を設定する

Fx1 / **Fx2** (▼) / **AF** / 電源レバー の動作を設定します。
AF モードでは、**AF** の設定ができます。

- 1** **5** / **2** メニュー「ボタンカスタマイズ」を選択、**▶** を押す
「ボタンカスタマイズ」画面が表示

- 2** ボタンを選択、**▶** を押す
各ボタンの設定画面が表示



3 ▶ を押し、▲▼ で割り当てる機能を選択 それぞれ以下の機能が割り当て可能

	設定	機能	参照
Fx1ボタン Fx2ボタン	ワンタッチRAW+	一時的に記録形式を変更	p.99
	アウトドアモニター	屋外での画像モニターの明るさを調整	p.11
	フラッシュモード	フラッシュモードを設定	p.65
	Real Resolution	Real Resolutionの設定を切り替え	p.70
	Shake Reduction	Shake Reduction / Movie SRのオン / オフ切り替え	p.69
	自動水平補正	自動水平補正のオン / オフ切り替え	-
AFボタン AFボタン (動画)	AF作動1	AF でオートフォーカスが作動	p.51
	AF作動2	AF でオートフォーカスが作動。 SHUTTER 半押し無効	
	AFキャンセル	AF を押している間、 SHUTTER 半押し無効	
プレビューレバー	光学プレビュー デジタルプレビュー	光学プレビューを作動 デジタルプレビューを作動	p.55

4 OKを押す

5 MENUを押す

手順2の画面に戻る
手順2～5を繰り返す

6 MENUを2回押す

ワンタッチRAW+を設定する

Fx1 / **Fx2** を押したときに変更する形式を、「記録形式」ごとに選択します。

1 「ボタンの動作を設定する」(p.98)の手順3でF_{x1}ボタン / F_{x2}ボタンを「ワンタッチRAW+」に設定

2 「撮影毎に解除」の / を切り替え

<input checked="" type="checkbox"/>	1回撮影するたびに Fx2 メニュー「記録設定」の「記録形式」の設定に戻る
<input type="checkbox"/>	以下の操作を行うまで設定を継続 ・再度 Fx1 / Fx2 を押す ・ ▶ / MENU / INFO / モードダイヤル / 電源レバーのいずれかを操作

3 **Fx1** / **Fx2** を押したときの記録形式を選択

左が「記録形式」の設定、右が **Fx1** / **Fx2** を押したときの記録形式



● 注意

- **Fx2**メニュー「カードスロット設定」が「RAW / JPEG分離」に設定されているときは、ワンタッチRAW+の操作は無効です。(p.43)

電子ダイヤルの動作を設定する

/ / の動作を露出モード別に設定できます。

1 5 / 2メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」を選択、▶を押す

「電子ダイヤル」画面が表示

2 露出モードを選択、▶を押す

選択した露出モードの画面が表示

3 ▶を押し、▲▼で / / の動作の組み合わせを選択



Tv	シャッター速度変更
Av	絞り値変更
ISO	ISO感度変更
<input checked="" type="checkbox"/>	露出補正
▶P	P に戻る
PSHIFT	プログラムシフト
PLINE	プログラムライン
--	操作無効

4 **OK** を押す

5 **MENU** を押す
「電子ダイヤル」画面に戻る
手順2～5を繰り返す

6 **MENU** を2回押す

メモ

- 手順2で「回転方向設定」を選択すると、 /  を操作したときの値の変化を逆方向に変更することができます。

照明／ランプを設定する



照明ボタンを設定する

 で点灯させる照明を設定します。
 2メニュー「照明設定」で設定します。オフを選択すると、 を押しても点灯しません。



表示パネル	オフ／暗い／明るい
背面操作部	オフ／暗い／明るい
レンズマウント部	オフ／オン
カード/リリース端子	オフ／オン

ランプを設定する

各ランプを点灯させるかどうかを設定します。

 2メニュー「インジケーター」で設定します。
「セルフタイマー」は、ドライブモード「セルフタイマー（12秒）」でのカウントダウン時、「リモコン」は撮影待機中に点滅します。



Wi-Fi	オフ／暗い／明るい
GPS	オフ／暗い／明るい
セルフタイマー	オフ／オン
リモコン	オフ／オン

よく使う設定値を登録する



モードダイヤル**U1**～**U5**に、カメラの設定をまとめて登録して利用することができます。
以下の設定が登録できます。

露出モード (AUTO以外)	カスタムイメージ
ISO感度	☑1～5メニューの設定
露出補正	(一部を除く)
ドライブモード	C1～4メニューの設定
ホワイトバランス	

設定を登録する

- 1 登録する露出モードと機能をすべて設定する
- 2 ☑5メニュー「**USERモード登録**」を選択、▶を押す
「USERモード登録」画面が表示
- 3 「**設定登録**」で▶を押す
「設定登録」画面が表示



- 4 **USER1**～**USER5**を選択、▶を押す
- 5 「**登録**」を選択、OKを押す
手順3の画面に戻る

注意

- モードダイヤルが**AUTO**になっているときは、「**USERモード登録**」は選択できません。

メモ

- 登録した設定内容は、手順3の画面で「登録済み内容確認」を選択すると確認できます。
- 設定を消去する場合は、手順3の画面で「**USERモードリセット**」を選択します。

名前を登録する

登録した設定に名前を付けることができます。

- 1 「**設定を登録する**」(p.101)の手順3で「**名称登録**」を選択、▶を押す
「名称登録」画面が表示
- 2 **USER1**～**USER5**を選択、▶を押す
文字を入力する画面が表示
- 3 文字を入力
半角18文字以内で英数字・記号

文字選択カーソル



文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|------|----------------------------------|
| ▲▼◀▶ | 文字選択カーソルを移動 |
| ☺ | 文字入力カーソルを移動 |
| ☑ | 大文字/小文字切り替え |
| OK | 文字選択カーソルが選択している文字を文字入力カーソルの位置に入力 |
| ☒ | 文字入力カーソル位置の文字を消去 |

- 4 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、**OK**を押す
「名称登録」画面に戻る

USERモードを利用する

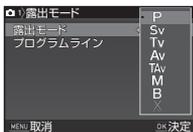
- 1 モードダイヤルをU1～U5に合わせる

USERモードのガイドが表示
▲▼で登録内容の確認が可能



- 2 必要に応じて設定を変更

露出モードを変更する場合は
1メニュー「露出モード」で変更



メモ

- 手順2で変更した設定は、USERモードに登録されません。電源を切ると登録済みの設定に戻ります。設定を変更する場合は登録をやり直してください。

目的地の日時を表示する



「初期設定」(p.36)で設定した日時は現在地の日時として設定され、画像の撮影日時に反映されます。

現在地とは別に目的地を設定すると、海外で使用する際に画像モニターに目的地の日時を表示し、画像に現地時間を記録できます。

- 1 1メニュー「ワールドタイム」を選択

「ワールドタイム」画面が表示

- 2 「時刻切替」で表示する時刻を選択

🏠 (現在地) / 📍 (目的地)



- 3 「📍 目的地」を選択、▶を押す

「📍 目的地」画面が表示

- 4 ◀▶で都市を選択

🗺️で地図表示切り替え



- 5 「夏時間」を選択、◀▶で☐/☑️を設定

- 6 **OK**を押す

手順2の画面に戻る

- 7 **MENU**を2回押す

●メモ

- ・現在地／目的地に指定できる都市は、「都市名一覧」(p.120)を参照してください。
- ・手順3で「現在地」を選択すると、現在地の都市／夏時間の変更ができます。
- ・「時刻切替」をに設定すると、コントロールパネルにと目的地の日時が表示されます。

カメラに保存する設定を選択する

5

本機で設定した機能は、ほとんどが電源を切っても記憶されています。以下の機能については、電源を切ったときに記憶する()か初期設定に戻す()かを選択できます。

5メニュー「モードメモリ」で設定します。

ISO感度	肌色補正
露出補正	デジタルフィルター
フラッシュモード	HDR撮影
フラッシュ光量補正	Real Resolution
ドライブモード	構図微調整
ホワイトバランス	再生情報表示
カスタムイメージ	キーロック
明瞭コントロール	アウトドアモニター

●メモ

- ・4メニュー「リセット」を実行すると、モードメモリの設定も初期設定に戻ります。

画像管理に関する設定

画像を消去できないようにする (プロテクト)

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。

●注意

- ・プロテクトされた画像も、メモリーカードをフォーマットすると消去されます。

1 再生モードパレットでを選択
処理単位の選択画面が表示

2 画像選択／フォルダー選択
を選択、**OK**を押す



3 画像／フォルダーを選択

画像の選択方法は「選択して消去する」(p.77)の手順2を参照

「フォルダー選択」は、手順5へ

4 **INFO**を押す
確認画面が表示

5 「プロテクト」を選択、**OK**を押す

●メモ

- ・メモリーカードの画像をまとめてプロテクトする場合は、1メニュー「全画像プロテクト」を選択します。

6

設定

フォルダー新規作成

3メニュー「フォルダー新規作成」を選択すると、次の画像の保存時に新たな番号のフォルダーを作成します。

注意

• 複数のフォルダーを続けて作成することはできません。

メモ

- 以下の場合は、自動的に新しいフォルダーが作成されます。
 - ドライブモード「インターバル撮影」(p.61)
 - 再生モードパレット「RAW 展開」の複数画像選択／フォルダー選択 (p.85)

2 ▶を押し、日付／任意を選択



日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が4桁で付く 月日は「日時設定」の表示スタイルに準じる 例) 101_0125・・・1月25日に撮影
任意	フォルダー番号の後ろに任意の5文字が付く (初期設定：PENTX) 例) 101PENTX

「日付」を選択した場合、または文字列を変更しない場合は、手順6へ

3 ▼を押してから▶を押す

文字を入力する画面が表示

4 文字を入力

半角5文字で英数字を入力

文字選択カーソル



文字入力カーソル

フォルダー名

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が保存されます。フォルダー名には、100～999の連番と5文字の文字列が付きます。

フォルダー名の文字列を変更することができます。

1 3メニュー「フォルダー名」を選択、▶を押す
「フォルダー名」画面が表示

ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼◀▶ 文字選択カーソルを移動
- ☺ 文字入力カーソルを移動
- OK 文字選択カーソルが選択している文字を文字入力カーソルの位置に入力
- リセット

5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、**OK**を押す

6 **MENU**を2回押す

メモ

- フォルダー名を変更すると、新たな番号のフォルダーが作成されます。
- 1つのフォルダーには、最大500枚の画像が保存されます。撮影枚数が500枚を超えると、次の番号のフォルダーが作成されます。ただし、ドライブモードの「ブラケット撮影」では、撮影が終了するまで同じフォルダーに保存されます。

注意

- フォルダー番号は最大999番です。999番フォルダーが作成済みのときに、フォルダー名の変更やフォルダー新規作成などを行うと、撮影ができなくなります。またファイル番号が9999に達したときも、撮影ができなくなります。

ファイル名

ファイル名の先頭には、**2**メニュー「記録設定」の「色空間」の設定によって以下の文字列が付きます。

色空間	ファイル名
sRGB	IMGP****.JPG
AdobeRGB	_IMG****.JPG

先頭の4文字を任意の文字列に変更することができます。

1 **3**メニュー「ファイル名」を選択、**▶**を押す
「ファイル名」画面が表示

2 **カメラ** / **ムービー**を選択、**▶**を押す
文字を入力する画面が表示



3 文字を入力
半角4文字以内で英数字を入力
入力方法は「フォルダー名」(p.104)の手順4~5を参照

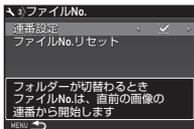
4 **MENU**を2回押す

メモ

- 色空間が「AdobeRGB」の場合はファイル名の先頭は「_」となり、指定した文字列の先頭3文字がファイル名になります。
- 動画は色空間の設定にかかわらず「IMGP****.MOV」、または指定した文字列が付いたファイル名になります。

ファイルNo.

ファイル名には、4文字の文字列の後に0001～9999の連番が付きます。フォルダーが新しくなったときにファイル番号を継続するかどうかを3メニュー「ファイルNo.」の「連番設定」で設定できます。



<input checked="" type="checkbox"/>	フォルダーが新しくなっても画像のファイル番号を継続
<input type="checkbox"/>	フォルダーが新しくなるたびに、画像のファイル番号を0001から開始

「ファイルNo.リセット」を実行すると、ファイル番号がリセットされます。

6 設定

メモ

- ファイル番号が9999に達すると、フォルダーが新規に作成されてファイル番号がリセットされます。

著作権情報の設定

3

画像のExifデータに記録する撮影者・著作権者の情報を設定します。

- 3メニュー「著作権情報」を選択、▶を押す
「著作権情報」画面が表示
- ◀▶で「著作権情報の添付」を指定



<input type="checkbox"/>	著作権情報を記録しない
<input checked="" type="checkbox"/>	著作権情報を記録する

- 3 撮影者名／著作権者名を選択、▶を押す
文字を入力する画面が表示
- 4 文字を入力
半角32文字以内で英数字・記号を入力
入力方法は「名前を登録する」(p.101)の手順3～4を参照
- 5 MENUを2回押す

メモ

- Exif情報は、再生モードの「詳細情報表示」(p.15)や付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」などで確認できます。

特殊機能の組み合わせ制限

×：組み合わせ不可 △：制限付きで組み合わせ可

	明瞭コントロール／ 肌色補正／ デジタル フィルター	HDR撮影	Real Resolution	ディストーション補正／ 回折補正	アストロ トレーサー	ローパス セクター	バッファ RAW保存
フラッシュ		×	×				
ドライ ブモ ード	連続撮影	×	×		×	△ ^{*2}	×
	ブラケット撮影	×	×		×	△ ^{*2}	
	ミラーアップ撮影		×			△ ^{*2}	
	多重露出	×	×	×	×	△ ^{*2}	
	インターバル撮影	△ ^{*1}	△ ^{*1}	×	×	△ ^{*2}	△ ^{*3}
	インターバル合成	×	×	×	×	△ ^{*2}	
	インターバル動画	△ ^{*1}	△ ^{*1}	×	×	×	×
	スターストリーム	×	×	×	×	△ ^{*2}	×
HDR撮影	×		×		×	×	
Real Resolution	×	×			×	×	
ローパスセクター		×	×		×		

*1 「撮影間隔」の最短値に制限あり

*2 ブラケット不可

*3 最終コマのみ保存可能

各種レンズ使用時の機能

D FA / DA / DA L / FA / FA J レンズ、または絞り **A** 位置があるレンズを絞り **A** 位置で使用すると、本機の撮影モードがすべて利用できます。

これ以外のレンズや絞りを **A** 位置以外で使用する場合は、以下の制限があります。

○：使用可能 △：機能制限あり ×：使用不可

機能	レンズグループ [マウント名称]	D FA DA DA L	FA ^{*6} FA J	F ^{*6}	A	M P
		[KAF] [KAF2] [KAF3]	[KAF] [KAF2]	[KAF]	[KA]	[K]
オートフォーカス (レンズ単体使用) (AFアダプター 1.7×使用) ^{*1}		○ -	○ -	○ -	- △	- △
マニュアルフォーカス (フォーカスインジケータ表示の利用) ^{*2} (マツト面の利用)		○	○	○	○	○
クイックシフトフォーカス		△ ^{*4}	×	×	×	×
測距点「オート」		○	○	○	×	×
測光方式「分割」		○	○	○	○	×
P / Sv / Tv / Av / TAv モード		○	○	○	○	△ ^{*10}
M モード		○	○	○	○	△
P-TTLオートフラッシュ 撮影 ^{*3}		○	○	○	○	×
パワースーム		-	△ ^{*7}	-	-	-
レンズ焦点距離の自動取得		○	○	○	×	×
レンズ補正		△ ^{*5}	△ ^{*8}	×	×	×

^{*1} レンズの開放F値がF2.8、またはそれより明るいレンズで**A**位置でのみ使用可能

^{*2} レンズの開放F値がF5.6、またはそれより明るいレンズのみ使用可能

^{*3} AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ II / AF201FG / AF200FG / AF160FC使用時

^{*4} 対応レンズのみ可能

^{*5} DA FISH EYE 10-17mmは、ディストーション補正 / 周辺光量補正無効

^{*6} FA SOFT 28mm F2.8 / FA SOFT 85mm F2.8 / F SOFT 85mm F2.8では、**C4**メニュー「26 絞りリングの使用」で「許可」を設定した上で、手動絞りの範囲でのみ設定した絞り値で撮影可能

^{*7} オートズームとプリセットズームは無効

^{*8} 以下のFAレンズでレンズ補正可能

FA^{*}24mm F2.4 AL [IF] / FA 28mm F2.8 AL / FA 31mm F1.8 Limited / FA 35mm F2 AL / FA 43mm F1.9 Limited / FA 50mm F1.4 / FA 77mm F1.8 Limited / FA^{*}85mm F1.4 [IF] / FA^{*}200mm F2.8 ED [IF] / FA^{*}MACRO 200mm F4 ED / FA^{*}300mm F2.8 ED [IF] / FA^{*}300mm F4.5 ED [IF] / FA^{*}400mm F5.6 ED [IF] / FA^{*}600mm F4 ED [IF] / FA^{*}28-70mm F2.8 ED [IF] / FA^{*}80-200mm F2.8 ED [IF] / FA^{*}250-600mm F5.6 ED [IF]

^{*9} 「スポット」固定

^{*10} 絞りは開放の**Av**（絞りリング無効）

●注意

- DA / DA Lレンズを使用する場合は、2 / 1メニューの「クロップ」を設定してください。(p.43) APS-Cサイズにクロップされるときは、ファインダー内にクロップ枠が表示されます。(p.17) 被写体が枠内に収まるように撮影してください。なお、DA^{*}200mm F2.8 ED [IF] SDM / DA^{*}300mm F4 ED [IF] SDM / DA 560mm F5.6 ED AW以外のDA / DA Lレンズを装着して「クロップ」で「35ミリフルサイズ」を設定した場合は、レンズ補正は設定できません。
- 絞り**A**位置があるレンズを絞り**A**位置以外で使用したり、**A**位置のないレンズや接写リングなどのアクセサリを取り付けた場合、**C4**メニュー「26 絞りリングの使用」で「許可」を設定しない限り、カメラは作動しません。「絞りリングの使用を許可する」(p.109)を参照してください。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。

レンズ名称とマウント名称

	マウント	名称	対応
MF	S	S	35mmサイズ用
	K	K/M	
	KA	A	
AF	KAF	D FA	35mm/APS-Cサイズ兼用
		DA	APS-Cサイズ用、絞りリングなし
		FA	35mmサイズ用、パワーズーム非対応
		FA J	35mmサイズ用、絞りリングなし
		F	35mmサイズ用
	KAF2	DA	APS-Cサイズ用、SDM対応、絞りリングなし
		FA	35mmサイズ用、パワーズーム対応
	KAF3	D FA	35mm/APS-Cサイズ兼用
		DA	APS-Cサイズ用、SDM専用、絞りリングなし

- DAレンズのうちモーターを搭載したレンズと、FAズームレンズのうちパワーズームが可能なレンズのマウントはKAF2マウント（AFカバーのないレンズはKAF3マウント）です。
- FAの単焦点レンズと、モーターを搭載していないDA/DA Lレンズ、D FA/FA J/FレンズのマウントはKAFマウントです。

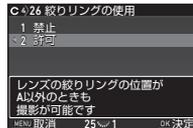
詳しくはレンズの使用説明書を参照してください。

絞りリングの使用を許可する

C4

D FA/FA/F/Aレンズで絞りを**A**位置以外にしたり、**A**位置がないレンズでも、撮影ができるようにします。

C4メニュー「26 絞りリングの使用」で「許可」を選択します。



この場合、次の制約があります。

使用レンズ	制約
D FA/FA/F/A/M (レンズ単体、オート接写リングKなどの自動絞り機能のアクセサリと組み合わせた場合)	絞りは開放固定 レンズの開放絞りに連動してシャッター速度は変化するが、露出の誤差が生じることがある
D FA/FA/F/A/M/S (接写リングKなどの絞り込み機能のアクセサリと組み合わせた場合)	設定した絞り値で撮影されるが、露出の誤差が生じることがある
レフレックスレンズなどの手動絞りのレンズ（レンズ単体）	
FA SOFT 28mm/ FA SOFT 85mm/ F SOFT 85mm (レンズ単体)	手動絞りの範囲のみ、設定した絞り値で撮影

●メモ

- 絞りを**A**位置以外にセットした場合、**M/B/X**モード以外はモードダイヤルの位置にかかわらず、**Av**モードで動作します。
- ステータススクリーン/ファインダー内/表示パネル/ライブビューの絞り値は「F--」と表示されます。

絞りA位置以外で露出を測る方法

絞りをA位置以外にしたときは、以下の方法で適正露出が得られます。

- 1 モードダイヤルをMに合わせる
- 2 レンズの絞りリングを設定したい絞り値に合わせる
- 3 ●を押す
シャッター速度が適正值に設定
- 4 適正露出が得られないときは、ISO感度を調整

キャッチインフォーカスで撮影する

C4

マニュアルフォーカスレンズを使用すると、ピントが合ったときに自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」ができます。

- 1 本機にマニュアルフォーカスレンズを取り付ける
- 2 C4メニュー「24 キャッチインフォーカス」を「オン」に設定する
- 3 フォーカスモードをAF、「AFモード」をAF.Sに設定する
- 4 カメラを設置する
- 5 被写体が通りそうな位置にピントを合わせ、**SHUTTER** 全押し
被写体がピントを合わせた位置に入ると、自動的に撮影

レンズ焦点距離を入力する



Shake Reductionは、レンズの焦点距離などの情報を取得して動作します。そのため、焦点距離が自動取得できないレンズを使用する場合は、手動で設定する必要があります。

- 1 C4メニュー「26 絞りリングの使用」を「許可」に設定する
- 2 カメラの電源を切る
- 3 カメラにレンズを装着し、電源を入れる
「焦点距離入力」画面が表示
- 4 ▲▼で焦点距離を選択
◀を押すと一覧から選択
ズームレンズ使用時は、ズームの焦点距離を設定



- 5 **OK**を押す
撮影待機状態に戻る

●メモ

- レンズ焦点距離は、C4メニュー「焦点距離入力」で変更できます。

外付けフラッシュ利用時の機能

別売の外付けフラッシュを使用すると、P-TTLオートフラッシュ撮影などができます。

○：使用可能 △：機能制限あり ×：使用不可

カメラの機能	対応フラッシュ	AF540FGZ AF540FGZ II AF360FGZ AF360FGZ II	AF201FG AF200FG AF160FC
赤目軽減機能		○	○
フラッシュ自動発光 ^{*1}		△ ^{*2}	△ ^{*2}
同調速度への自動切り替え		○	○
P / Tv モードで絞り値自動セット		△ ^{*2}	△ ^{*2}
P-TTLオートフラッシュ撮影		△ ^{*2}	△ ^{*2}
スローシンクロ撮影		○	○
フラッシュ光量補正		○	○
外付けフラッシュのAF補助光使用		△ ^{*3}	×
後幕シンクロ撮影 ^{*4}		○	△ ^{*5}
光量比制御モード		△ ^{*6}	△ ^{*7}
スレーブ機能		△ ^{*6}	×
ハイスピードシンクロ撮影		○	×
ワイヤレス撮影		△ ^{*6}	×

*1 **AUTO** (シーンアナライズオート) モードのみ

*2 D FA/DA/DA L/FA/FA J/F/Aレンズを使用した場合のみ可能

*3 AF540FGZ/AF360FGZのAF補助発光は不可

*4 シャッター速度は1/100秒以下

*5 AF200FG/AF160FCは不可

*6 AF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIを複数台組み合わせることが必要

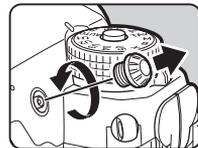
*7 AF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIと組み合わせた場合のみ可能

注意

- 極性が逆 (ホットシュー中央の接点がマイナス) のフラッシュは使用できません。カメラやフラッシュが壊れるおそれがあります。
- ホットシューグリップなど接点数の異なるアクセサリーを組み合わせると誤作動の原因になるので、使用しないでください。
- 他社製フラッシュを組み合わせると、故障の原因になる場合があります。

メモ

- AF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIは、1/200秒より速いシャッター速度のときにもフラッシュを発生して撮影する「ハイスピードシンクロ撮影」ができます。カメラの露出モードを**Tv**/**TAv**/**M**に設定します。
- 外付けフラッシュAF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIの組み合わせで、フラッシュ同士をコードで接続せずにP-TTL撮影を行う「ワイヤレスモード」が利用できます。その場合のカメラのチャンネルは、外付けフラッシュで設定します。
- 外付けフラッシュの同調速度は、**C1**メニュー「7 フラッシュ同調速度」で設定できます。
- Xシンクロソケットを利用すると、シンクロコードを使用してフラッシュ撮影ができます。シンクロコードを接続するときは、本機に取り付けられているシンクロソケット2Pキャップを外します。



困ったときは

メモ

- ・ 静電気などの影響で、まれにカメラが正しく動作しないことがあります。このような場合は、バッテリーを入れ直してみてください。カメラが正常に動作すれば故障ではありません。

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが正しく入っていない	バッテリーの挿入方向を確認してください。
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。
シャッターがきれない	メモリーカードに空きがない	空き容量のあるメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
	処理中	処理が終わるまで待ってください。
	レンズの絞りがA位置以外になっている	絞りをA位置にするか、C4メニュー「26 絞りリングの使用」で「許可」を選択してください。(p.109)
	AFモードがAFSでない	フォーカスモードをMFにしてピントが合っていない
ピントが合わない	オートフォーカスが苦手なものを被写体にしていない	コントラストが低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、AFが苦手なものです。撮りたいものと同じ距離にある別のものにフォーカスロックしてから、撮りたい構図で撮影します。または、MFを使用してください。
	被写体が近すぎる	被写体から離れて撮影してください。

現象	原因	対処方法
フラッシュが発光しない	フラッシュモードがA/A ² になっている	フラッシュモードがA/A ² になっているときは、被写体が明るいと発光しません。フラッシュモードを変更してください。(p.65)
パソコンと接続しても認識されない	転送モードが「PTP」になっている	2メニュー「USB接続」を「MSC」に設定してください。
画像にゴミが写り込む	CMOSセンサーに汚れやほこりが付着している	4メニュー「ダストリムーバー」を実行してください。電源ON/OFF時に毎回動作させることもできます。それでも解消しない場合は、「センサーのクリーニング」(p.113)を参照してください。
撮影画像の表示に、欠けや常時点灯する箇所がある	CMOSセンサーの画素に欠けがある	4メニュー「ピクセルマッピング」を実行してください。補完処理は30秒ほど時間がかかるので、十分に充電したバッテリーを使用してください。

センサーのクリーニング

ブローアードよこりを落とす



ミラーをアップし、ブローアを使ってクリーニングします。

- 1 カメラの電源を切り、レンズを取り外す
- 2 カメラの電源を入れる
- 3 メニュー「センサークリーニング」を選択、▶
を押す
「センサークリーニング」画面が表示
- 4 「ミラーアップ」を選択、**OK**を押す
ミラーがアップ
- 5 ブローアを使用してクリーニングする
- 6 電源を切る
ミラーに戻る

注意

- スプレー式またはブラシ付きのブローアは使用しないでください。CMOSセンサーが傷つくことがあります。また、CMOSセンサーは絶対に布で拭かないでください。
- ブローア先端をレンズマウント面より中に入れないでください。万一電源が切れた場合、シャッター機構部やCMOSセンサー部、ミラー部が破損するおそれがあります。また、ゴミが外に落ちるよう、レンズマウント面を下に向けてブローアを使用してください。
- バッテリー容量が少ない場合、「電池容量がたりないためクリーニングを行えません」と画像モニターに表示されます。容量が十分に残っているバッテリーを使用してください。クリーニングの途中でバッテリー容量が少なくなると警告音が鳴ります。その場合は、すぐにクリーニングを中止してください。

メモ

- CMOSセンサーは精密部品ですので、清掃はできるだけ当社の修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。
- クリーニングは、別売のイメージセンサークリーニングキット O-ICK1も使用できます。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量がありません	メモリーカードの容量いっぱいになり画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
画像がありません	メモリーカードに再生できる画像が保存されていません
この画像を表示できません	本機で再生できない画像を再生しようとしています。パソコンでは表示できる場合があります。
カードが入っていません	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です	メモリーカードの異常で、撮影/再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードがセットされているか、他の機器で使ったメモリーカードがセットされています。本機でフォーマットしてから使用してください。
カードがロックされています	ライトプロテクトスイッチがロックされたメモリーカードがセットされています。(p.128)
このカードは利用できません	本機が対応していないメモリーカードがセットされています。
Wi-Fi機能は無効です	無線LAN機能が有効の状態では、モードに移行したときに表示されます。
この画像を拡大表示できません	拡大できない画像を拡大表示しようとしています。
この画像はプロテクトされています	消去しようとしている画像がプロテクトされています。画像のプロテクトを解除してください。(p.103)
電池容量がたりないためピクセルマッピングを行えません	ピクセルマッピング/センサークリーニング/アップデート実行時にバッテリー容量が足りない場合に表示されます。十分に充電したバッテリーを使用してください。
電池容量がたりないためクリーニングを行えません	
電池容量がたりないためアップデートを行えません	

エラーメッセージ	内容
ファイルが壊れているためアップデートを行えません	アップデートファイルが壊れているため実行できません。アップデートファイルを再度ダウンロードしてください。
フォルダーが作成できません	最大のフォルダー No. (999) が使用されているため、画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、メモリーカードをフォーマットしてください。
画像を保存できませんでした	メモリーカードの異常で、撮影した画像が保存できません。
正しく処理できませんでした	処理が失敗しました。もう一度やり直してください。
これ以上選択できません	以下の機能で、上限枚数以上を選択しようとしています。 <ul style="list-style-type: none"> • 選択消去 • 画像コピー • RAW展開 • プロテクト
処理できる画像がありません	デジタルフィルターを適用できる画像、またはRAW展開できる画像がありません。
この画像を処理できません	他のカメラで撮影した画像に対してリサイズ/トリミング/デジタルフィルター/動画編集/RAW展開/マニュアルWB登録を実行した場合、または最小サイズの画像に対してリサイズ/トリミングを実行した場合に表示されます。
このモードでは設定することができません	機能に制限がある撮影モードのときに、設定できない機能を設定しようとしています。
カメラが高温になりました電源をオフします	カメラ内部が高温になったため、電源が切れます。しばらくしてから電源を入れてください。
撮影できる状態までレンズのズームリングをまわしてください	洗剤式レンズを装着しているときに、レンズが収納されているため撮影ができません。(p.41)

主な仕様

型式

型式	TTL AE・AF一眼レフデジタルカメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット KAF2マウント (AFカブラー・情報接点・電源接点付き)
使用レンズ	KAF3、KAF2 (パワースーム対応)、KAF、KAマウントレンズ

撮像部

撮像素子	種類：原色フィルター/CMOS、サイズ：35.9×24.0mm
有効画素数	約3640万画素
総画素数	約3677万画素
ダストリムーバブル	超音波振動による撮像素子クリーニング機能「DR II」
感度 (標準出力感度)	ISO AUTO/100～204800 (1 EVステップ、1/2 EVステップまたは1/3 EVステップ)
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式 (SR : Shake Reduction) (5軸補正)
ローパスセレクト	SRユニットを用いたモアレ低減機能、OFF / Type1 / Type2 / プラケット (3枚)

記録形式

画像ファイル形式	RAW (PEF / DNG)、JPEG (Exif 2.3準拠)、DCF 2.0準拠
記録サイズ (画素数)	[35ミリフルサイズ] JPEG : <input type="checkbox"/> (36M : 7360×4912) <input type="checkbox"/> (22M : 5760×3840) <input type="checkbox"/> (12M : 4224×2816) <input type="checkbox"/> (2M : 1920×1280)
	RAW : (36M : 7360×4912) [APS-Cサイズ] JPEG : <input type="checkbox"/> (15M : 4800×3200) <input type="checkbox"/> (12M : 4224×2816) <input type="checkbox"/> (8M : 3456×2304) <input type="checkbox"/> (2M : 1920×1280)
	RAW : (15M : 4800×3200)
	RAW (14bit) : PEF、DNG JPEG : ★★★ (スーパーファイン)、★★ (ファイン)、★ (エコノミー) RAWとJPEGの同時記録可能
色空間	sRGB、AdobeRGB

記録媒体	SD、SDHC、SDXCメモリーカード (SDHC、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応)
デュアルスロット	順次、複製、RAW / JPEG分離、画像コピー
記録フォルダー	フォルダー名設定：日付 (100_1018、101_1019...)、任意 (初期値はPENTX)
記録ファイル	ファイル名設定可能 (初期値はIMGP****) ファイルNo.設定：連番設定、リセット

ファインダー

方式	ペンタプリズムファインダー
視野率	約100%
倍率	約0.70× (50mm F1.4 ∞)
アイレリーフ長	約20.6mm (見口枠より)、約21.7mm (レンズ中心より)
視度調節機能	約-3.5～+1.2m ⁻¹
フォーカシングスクリーン	ナチュラルプライトマットIII、非交換式
ファインダー表示	測距点、グリッド表示、電子水準器、AFフレーム、スポット測光フレーム、クロップ

ライブビュー

方式	撮像素子によるTTL方式
フォーカス	コントラスト検出式 (顔検出、追尾、多点オート、セレクト、スポット) フォーカスアシスト (ON / OFF)
表示	視野率約100%、拡大表示 (最大16倍まで)、グリッド表示 (16分割表示、黄金分割表示、スケール表示、正方 (小)、正方 (大) 線種 : 黒 / 白選択可能)、ヒストグラム表示、白とび警告、構図微調整

画像モニター

形式	TFTカラーLCD、広視野角タイプ、エアギャップレス強化ガラス、フレキシブルチルト式
イメージサイズ	3.2型 (アスペクト比3 : 2)
ドット数	約103.7万ドット
調整	明るさ、彩度、色調整
アウトドアモニター	±2ステップで調整可

ホワイトバランス

方式	撮像素子および光源検知センサーによる併用方式
ホワイトバランス	オートWB、マルチパターンオートWB、太陽光、日陰、曇天、蛍光灯 (D:昼光色、N:昼白色、W:白色、L:電球色)、白熱灯、 CTE 、マニュアル (3種類登録可)、色温度設定 (3種類登録可)、撮影画像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で±7ステップで調整可

オートフォーカス

方式	TTL位相差検出式
測距センサー	SAFOX12、33点測距 (中央25点はクロスタイプ)
輝度範囲	EV -3~+18 (ISO 100、常温)
AFモード	シングルAF (AFS)、コンティニュアスAF (AF-C)
AFエリア	スポット、セレクト、セレクトエリア拡大 (S、M、L)、ゾーンセレクト、33点オート
AF補助光	専用LEDによるAF補助光

露出制御

測光方式	8.6万画素RGBセンサーによるTTL開放測光、分割測光/中央重点/スポット
露出範囲	EV -3~+20 (ISO 100・50mm F1.4)
露出モード	シーンアナライズオート、プログラム、感度優先、シャッター優先、絞り優先、シャッター&絞り優先、マニュアル、バルブ、フラッシュ同調速度、USER1、USER2、USER3、USER4、USER5
露出補正	±5 EV (1/2 EVステップ、1/3 EVステップ選択可能)
AEロック	ボタン式 (タイマー式: カスタム設定で設定した測光作動時間の2倍)、 SHUTTER 半押しで継続

シャッター

方式	電子制御式縦走りフォーカスブレンシャッター ・リアル・レンゾリューション・システム時には電子シャッターを使用
シャッタースピード	オート: 1/8000秒~30秒、マニュアル: 1/8000秒~30秒 (1/3 EVステップまたは1/2 EVステップ)、バルブ

ドライブ

ドライブモード	<p>[静止画]</p> <p>1コマ、連続 (H、M、L)、セルフタイマー (12秒後、2秒後、連続)、リモコン (即、3秒後、連続)、ブラケット (2コマ/3コマ/5コマ)、ミラーアップ (リモコンとの併用可能)、多重露出 (連続/セルフタイマー/リモコンとの併用可能)、インターバル撮影、インターバル合成、インターバル動画、スターストリーム</p> <p>[動画]</p> <p>リモコン</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラケット、インターバル撮影、インターバル合成、インターバル動画、スターストリームはセルフタイマー/リモコンとの併用可能
	<p>[35ミリフルサイズ]</p> <p>最高約4.4コマ/秒、JPEG (L)・★★★・連続(H): 70コマまで、RAW: 17コマまで 最高約3.0コマ/秒、JPEG (L)・★★★・連続(M): 100コマまで、RAW: 20コマまで 最高約0.7コマ/秒、JPEG (L)・★★★・連続(L): 100コマまで、RAW: 100コマまで</p> <p>[APS-Cサイズ]</p> <p>最高約6.5コマ/秒、JPEG (L)・★★★・連続(H): 100コマまで、RAW: 50コマまで 最高約3.0コマ/秒、JPEG (L)・★★★・連続(M): 100コマまで、RAW: 70コマまで 最高約1.0コマ/秒、JPEG (L)・★★★・連続(L): 100コマまで、RAW: 100コマまで</p> <ul style="list-style-type: none"> 連続撮影可能コマ数はISO 100のとき
多重露出	<p>合成方法: 加算/平均/比較明</p> <p>撮影回数: 2~2000回</p>

インターバル	<p>[インターバル撮影] 撮影間隔：2秒～24時間／撮影待機時間：最短・1秒～24時間、撮影回数：2～2000回、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定</p> <p>[インターバル合成] 撮影間隔：2秒～24時間／撮影待機時間：最短・1秒～24時間、撮影回数：2～2000回、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定、合成方法：加算／平均／比較明、途中経過保存：オン／オフ</p> <p>[インターバル動画] 記録サイズ：4K / FullHD / HD、ファイル形式：Motion JPEG (AVI)、撮影間隔：2秒～24時間／撮影待機時間：最短：1秒～24時間、撮影回数：8～2000回（記録サイズ4K選択時は8～500回）、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定</p> <p>[スターストリーム] 記録サイズ：4K / FullHD / HD、ファイル形式：Motion JPEG (AVI)、撮影待機時間：最短：1秒～24時間、撮影回数：8～2000回（記録サイズ4K選択時は8～500回）、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定、フェードアウト：オフ／弱／中／強</p>

外付けフラッシュ

発光方式	自動発光、赤目軽減自動発光、強制発光、赤目軽減強制発光、スローシンクロ、赤目軽減スローシンクロ、P-TTL、光量比制御、ハイスピードシンクロ、ワイヤレスシンクロ可能 ・光量比制御とワイヤレスシンクロは、対応のフラッシュが2台以上必要
シンクロ同調速度	1/200秒
フラッシュ光量補正	-2.0～+1.0 EV

撮影機能

カスタムイメージ	オートセレクト、鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、フラット、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1～3、お気に入り1～3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガボジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム
明瞭コントロール	-4～+4
肌色補正	Type1 / Type2

HDR撮影	オート / Type1 / Type2 / Type3 / アドバンスドHDR、振り幅設定可、自動位置調整可
Real Resolution	あり、動画補正可
レンズ補正	ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正
D-Range設定	ハイライト補正、シャドウ補正
ノイズリダクション	長秒時NR、高感度NR
GPS	GPSログ（記録間隔、記録時間、カードスロット設定）、自動時刻修正可
電子コンパス	あり
アストロトレーサー	あり
自動水平補正	SRオン時：最大1度まで補正可能、SRオフ時：最大2度まで補正可能
構図微調整	上下左右シフト調整範囲±1.5mm（回転時は±1mm）、回転調整範囲±1度
電子水準器	ファインダー内表示（左右・前後の傾き）、画像モニター表示（左右・前後の傾き）

動画

ファイル形式	MPEG-4 AVC/H.264 (MOV)
記録サイズ	FullHD (1920×1080、60i / 50i / 30p / 25p / 24p)、HD (1280×720、60p / 50p)
音声	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能（ステレオ録音）録音レベル調整可能、風切音低減可能
記録時間	最大4GBまたは最長約25分、内部温度上昇時は自動終了
カスタムイメージ	オートセレクト、鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、フラット、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1～3、お気に入り1～3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガボジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム

再生機能

再生方法	1画像、マルチ画面表示 (6、12、20、35、80画面)、拡大 (最大16倍まで、等倍表示可、クイック拡大可)、グリッド表示 (16分割、黄金分割、スケール、正方 (小)、正方 (大)) 線種: 黒/白選択可能)、回転表示、ヒストグラム表示 (Yヒストグラム、RGBヒストグラム)、白とび警告表示、縦位置自動回転、詳細情報表示、著作権情報表示 (撮影者名、著作権者名)、GPS情報 (緯度、経度、高度、協定世界時)、方位、フォルダー表示、撮影日別表示、スライドショー
消去機能	1画像消去、全画像消去、選択消去、フォルダー消去、クイックビュー消去
デジタルフィルター	ベースメイク、色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガボジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム、ドラマチックアート、デッサン、水彩画、パステル、ポストリレーション、ミニチュア、ソフト、クロス、フィッシュアイ、スリム、モントーン
RAW展開	RAW画像選択: 1画像選択/複数画像選択/フォルダー選択 RAW展開パラメーター: ホワイトバランス、カスタムイメージ、増減感、明瞭コントロール、肌色補正、デジタルフィルター、HDR撮影、Real Resolution、シャドー補正、高感度NR、テストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正、フリッジ補正、記録形式 (JPEG、TIFF)、アスペクト比、JPEG記録サイズ、JPEG画質、色空間
編集機能	画像回転、色モアレ補正、リサイズ、トリミング (アスペクト比変更可、傾き修正可)、動画編集 (分割および不要部分削除)、動画プレーム画像 JPEG保存、バッファRAW保存、画像コピー

カスタマイズ機能

コーザモード	最大5件まで登録可
カスタムファンクション	26項目
モードメモリ	16項目
カスタムボタン	Fn / Fn2 ボタン (ワンタッチRAW+、アウトドアモニター、フラッシュモード、Real Resolution、Shake Reduction、自動水平補正、電子水準器) Fn3 ボタン (AF作動1、AF作動2、AFキャンセル) プレビューレバー (光学プレビュー、デジタルプレビュー) 露出モード別電子ダイヤルカスタマイズ各種

オートフォーカスカスタマイズ	AF.S: フォーカス優先/リリース優先から選択可 AF.C1コマ目の動作: オート/フォーカス優先/リリース優先から選択可 AF.C連続撮影中の動作: オート/フォーカス優先/コマ速優先から選択可 AFホールド: オフ/弱/中/強から選択可 インターバル撮影中のAF: フォーカスロックする/フォーカスロックしないから選択可 リモコン時のAF: オフ/オンから選択可
キーロック機能	Type1: Type2:
文字サイズ	標準、大きい
ワールドタイム	世界75都市に対応 (28タイムゾーン)
AF微調整	±10ステップ、一律調整、個別調整 (最大20本まで登録可)
照明設定	表示パネル: 明るい/暗い/オフから選択可 背面操作部: 明るい/暗い/オフから選択可 レンズマウント部: オン/オフから選択可 カード/リリース端子: オン/オフから選択可
インジケータ	Wi-Fi: 明るい/暗い/オフから選択可 GPS: 明るい/暗い/オフから選択可 セルフタイマー: オン/オフから選択可 リモコン: オン/オフから選択可
著作権情報	「撮影者名」「著作権者名」を画像ファイルに記録、同梱ソフトウェアで改ざんの有無を確認可能

GPS/電子コンパス

対応衛星	GPS、QZSS、SBAS (WAAS/EGNOS/GAGAN/MSAS)
受信周波数	L1 1575.42MHz
記録情報	緯度、経度、高度、日時 (協定世界時)、方位
測地系	世界測地系 (WGS84)
GPSログ	KML形式、記録間隔: 5秒/10秒/15秒/30秒/1分、記録時間: 1~24時間 • 5秒選択時は9時間まで、10秒選択時は18時間まで
電子コンパス	3軸地磁気センサーおよび3軸加速度センサーによる方位算出、真北基準

電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC132J (別売)

電池寿命	撮影可能枚数...約760枚 再生時間...約390分 ・満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23°C、 撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目 目安ですが、使用条件により変わります。
------	---

外部インターフェイス

端子	USB 2.0 (micro B)、外部電源端子、ケーブルス イッチ端子、Xシンクロソケット、HDMI出力端子 (タイプD)、ステレオマイク入力端子、ヘッドホン 出力端子
USB接続	MSC / PTP

無線LAN

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル)
使用周波数 (中心周波数)	2412MHz~2462MHz (1ch~11ch)
セキュリティ	認証方式: WPA2 暗号化方式: AES

外形寸法・質量

外形寸法	約136.5mm (幅) × 110mm (高) × 85.5mm (厚) (突起部を除く)
質量	約1010g (バッテリー、SDカード1枚付き) 約925g (本体のみ)

動作環境

使用温度	-10~40°C
使用湿度	85%以下 (結露しないこと)

付属品

同梱物	ストラップ O-ST162、MEファインダーキャップ、 充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P、充電器 D-BC90P、ACコード、ソフトウェア (CD-ROM) S-SW162 <これ以降はカメラに装着状態で出荷>アイカップ Fr、ホットシューカバー Fk、シンクロソケット2P キャップ、ボディマウントキャップ K II、バッテ リーグリップ接点カバー
ソフトウェア	Digital Camera Utility 5

撮影可能枚数と再生時間

(バッテリーフル充電時)

使用電源	使用温度	一般撮影	再生時間
D-LI90P	23°C	約760枚	約390分

- ・撮影枚数 (一般撮影) はCIPA規格に準じた測定条件、その他については当社の測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

記録サイズ別撮影可能枚数の目安

(8GBのメモリーカード使用時)

35ミリフルサイズ 記録サイズ	JPEG画質			RAW
	★★★	★★	★	
L 36M	351枚	676枚	1164枚	101枚
M 22M	572枚	1096枚	1874枚	-
S 12M	1054枚	2013枚	3364枚	-
XS 2M	4723枚	8469枚	12927枚	-

APS-Cサイズ 記録サイズ	JPEG画質			RAW
	★★★	★★	★	
L 15M	821枚	1564枚	2669枚	215枚
M 12M	1054枚	2013枚	3364枚	-
S 8M	1564枚	2959枚	4912枚	-
XS 2M	4723枚	8469枚	12927枚	-

- ・撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリーカード等により異なります。

都市名一覧

現在地／目的地として以下の都市が設定できます

地域	都市名
北米	ホノルル／アンカレジ／バンクーバー／サンフランシスコ／ロサンゼルス／カルガリー／デンバー／シカゴ／マイアミ／トロント／ニューヨーク／ハリファックス
中南米	メキシコシティ／リマ／サンティアゴ／カラカス／ブエノスアイレス／サンパウロ／リオデジャネイロ
ヨーロッパ	リスボン／マドリード／ロンドン／パリ／アムステルダム／ミラノ／ローマ／コペンハーゲン／ベルリン／プラハ／ストックホルム／ブダペスト／ワルシャワ／アテネ／ヘルシンキ／モスクワ
アフリカ・西アジア	ダカール／アルジェ／ヨハネスブルグ／イスタンブール／カイロ／エルサレム／ナイロビ／ジッダ／テヘラン／ドバイ／カラチ／カブール／マーレ／デリー／コロンボ／カトマンズ／ダッカ
東アジア	ヤンゴン／バンコク／クアラルンプール／ビエンチャン／シンガポール／ブノンペン／ホーチミン／ジャカルタ／香港／北京／上海／マニラ／台北／ソウル／東京／グアム
オセアニア	パース／アデレード／シドニー／ヌーメア／ウェリントン／オークランド／パゴパゴ

USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」は、パソコンでRAW画像の展開や色調整、撮影情報の確認などができます。付属のCD-ROM（S-SW162）からインストールができます。本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

Windows

OS	Windows 10／Windows 8.1（32bit／64bit）／Windows 8（32bit／64bit）／Windows 7（32bit／64bit）／Windows Vista（32bit／64bit）
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	4GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量： 約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約15MB（JPEG）または約50MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

Macintosh

OS	OS X 10.10／10.9／10.8／10.7
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	4GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量： 約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約15MB（JPEG）または約50MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

メモ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、MOVファイル／AVIファイルに対応している動画再生ソフトを使用してください。

記号

📷メニュー	22
📷メニュー	26
📷メニュー	27
📷メニュー	28
📷メニュー	30
📷モード	47

数字

1画像表示	15, 42
1コマ撮影	56

A

ACアダプター	35
AdobeRGB	43
AF.C	51
AF.C 1コマ目の動作	53
AF.C連続撮影中の動作	53
A.F.S	51
AF.Sの動作	53
AFエリア	54
AFカブラー	7
AF微調整	54
AFフレーム	17, 40
AFホールド	53
AF補助光	51
AF補助光ランプ	7
AFボタン	98
AFモード	51, 53
AFロック時のAE-L	30
AUTO モード	39
AV機器	80
Av モード	44

B

B時の撮影方法	30
B モード	44

C

CITE	63
-------------	----

D

DC入力端子	35
Digital Camera Utility 5	86, 121
DNG	43
D-Range設定	68

E

Exifデータ	106
---------	-----

F

Fx1/Fx2ボタン	98
------------	----

G

GPS	72
GPS / 電子コンパス	74
GPSランプ	72
GPSログ	74

H

HDMI出力	80
HDR撮影	68

I

Image Sync	89
IMAGE Transmitter 2	88
ISO感度	49
ISO感度ステップ	49

J

JPEG	43
JPEG画質	43
JPEG記録サイズ	43

L

Language/言語	36
LCD設定	28

M

Macintosh	121
MEファインダーキャップ	56
Movie SR	26
MSC	112
M モード	44

P

PEF	43
PTP	112
P モード	44

R

RAW	43
RAW追加保存	40, 42
RAW展開	85
RAWファイル形式	43
Real Resolution	70
RGBヒストグラム	16

S

SDメモリーカード	35
Shake Reduction	69
sRGB	43
SRの自動オフ	56
Sv モード	44

T

TAv モード	44
TTL位相差検出式	51
Tv モード	44

U

USB接続	87, 121
USB端子	87
USERモード登録	101

W

WBの光源調整範囲	63
Wi-Fi	88
Wi-Fiランプ	7
Windows	121

X

Xシンクロナソケット	111
X モード	44

あ

アウトドアモニター	11
赤目軽減	65
明るさ補正	68
鮮やか (カスタムイメージ)	66
アストロトレーサー	75
アスペクト比	82, 86
アフターサービス	130

い

位相差AF	53
移動経路	74
色温度 (ホワイトバランス)	64
色温度ステップ	64
色空間	43
色抽出 (デジタルフィルタ)	67, 83
色の置換え (デジタルフィルタ)	67, 83
色モアレ補正	82
インジケーター	100

インターバル合成.....	61
インターバル撮影.....	61
インターバル撮影中のAF.....	62
インターバル撮影の動作.....	62
インターバル動画.....	61
え	
エラーメッセージ.....	114
お	
オート(測距点).....	52
オートWB(ホワイトバランス).....	63
オートセレクト(カスタムイメージ).....	66
オートパワーオフ.....	36
オートフォーカス.....	51
音声.....	47
音量設定.....	47
か	
カード/LR/リズ端子ランプ.....	36
カードアクセスランプ.....	7
カードスロット設定.....	43
回折補正.....	69
回転.....	79
回転情報の記録.....	79
回転方向設定.....	100
ガイド表示.....	40
顔検出(コントラストAF).....	53
画角.....	43
拡大表示.....	40, 42
角度調節.....	10
加工.....	81
画質.....	43
画質補正.....	70
カスタマイズ.....	98

カスタムイメージ.....	66
カスタムメニュー.....	30
風切音低減.....	47
画像閲覧(Image Sync).....	89
画像回転.....	79
画像コピー.....	81
画像仕上.....	66
画像の自動回転.....	79
画像モニター.....	11
合焦マーク.....	40
画面表示.....	38
感度.....	49
感度AUTO設定.....	49
感度アップポイント.....	49
感度優先自動露出.....	44
き	
キー操作ロック.....	41
キーロックの動作.....	41
輝度ヒストグラム.....	16
キャッチインフォーカス.....	110
キャリブレーション.....	73
強制発光.....	65
記録形式.....	43
記録サイズ.....	43
記録設定.....	43
銀残し(カスタムイメージ).....	66
く	
クイック拡大.....	42
クイックビュー.....	40
クイックビュー表示.....	40
クリーニング.....	113
グリッド表示.....	17, 42
クロス(デジタルフィルタ).....	83
クロスプロセス(カスタムイメージ).....	66
クロスプロセス登録.....	67

クロップ.....	43
クロップ枠.....	17
け	
ケーブルスイッチ端子.....	7
ケルビン.....	64
言語設定.....	36
現在地.....	36, 102
現像.....	85
こ	
光学プレビュー.....	55
高感度NR.....	49
構図微調整.....	71
光量補正.....	65
コンティニユアスモード(AFモード).....	51
コントラスト(カスタムイメージ).....	66
コントラストAF.....	54
コントラストAFの動作.....	54
コントラスト検出式.....	51
コントロールパネル.....	13, 20
さ	
サイズ変更.....	81
再生音量.....	48
再生情報表示選択.....	15
再生スロット.....	42
再生メニュー.....	27
再生モード.....	42
再生モードパレット.....	76
撮影.....	39
撮影可能枚数.....	119
撮影者名.....	106
撮影情報表示選択.....	14
撮影待機状態.....	11
撮影日別表示.....	78
撮影メニュー.....	22
撮影モード.....	44
三脚ねじ穴.....	7

し	
シーンアナライズオートモード.....	39
シェーディング(デジタルフィルター).....	67, 83
時刻切替.....	102
自動時刻修正.....	72
自動水平補正.....	24
自動発光.....	65
視度調整ダイヤル.....	17
絞り値.....	44
絞り優先自動露出.....	44
絞りリング付きレンズ.....	109
絞りリングの使用.....	109
シャープネス(カスタムイメージ).....	66
シャッター&絞り優先自動露出.....	44
シャッター速度.....	44
シャッター優先自動露出.....	44
シャドロー補正.....	68
十字キー.....	9, 19
充電.....	33
充電時間.....	34
周辺光量補正.....	69
仕様.....	115
消去.....	42
詳細情報表示.....	15
詳細設定メニュー.....	28
焦点距離入力.....	110
照明設定.....	100
初期化.....	38
初期設定.....	36
白とび警告.....	15
シングルモード(AFモード).....	51
人物(カスタムイメージ).....	66

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしておいでください。



警告

このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意

このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

本体について



警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分ご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて



警告

- バッテリー充電器とACアダプターは、必ず専用用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにはこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。



注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器D-BC90Pで充電式リチウムイオンバッテリーD-LI90P以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとすると、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて



警告

- バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



注意

- 本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。

- ・万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- ・バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- ・バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- ・バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ・発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
 1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に



警告

- ・カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
 2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
 3. バッテリーやSDメモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- ・長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- ・バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- ・バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- ・充電は使用する当日か前日にご使用をお勧めします。
- ・本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC90P専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- ・高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- ・強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでくんで保護してください。
- ・カメラの使用温度範囲は-10～40℃です。
- ・高温では液晶表示が黒くなる場合がありますが、常温に戻れば正常になります。
- ・低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- ・急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ・ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- ・破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- ・三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- ・ 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ・ レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブローアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- ・ CMOSセンサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。(有料)
- ・ 高性能を保つため、1~2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

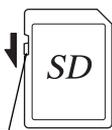
保管について

- ・ 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- ・ 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ・ 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

- ・ SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
- ・ カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- ・ SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- ・ SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- ・ SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなる場合があります。
- ・ SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ライトプロテクト
スイッチ



1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
4. SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき

- ・ 長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどで定期的にバックアップを取るようしてください。
- ・ SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- ・ 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- ・ フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・ SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

無線LAN機能について

- ・ 電気製品、AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・ 磁気や電磁波の影響を受けると、通信ができなくなることがあります。
- ・ テレビ、ラジオなどの近くで使用すると、受信障害の原因になったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用しているとき正しく検索できない場合があります。
- ・ データはお客様の責任において管理してください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更し、混信を回避してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービス窓口にお問い合わせください。

本製品は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マークを画面に表示することができます。

認証マークの表示方法

▼4メニュー「認証マーク」で電波法ならびに電気通信事業法に基づく基準適合マークを表示できます。メニューの操作については、「メニューで設定する」(p.21)を参照してください。

GPSについて

- 地理的または気象条件によっては、GPSデータが取得できなかったり、データの取得に時間がかかることがあります。また、屋内や地下、ビルや大きな木の陰など、電波を遮断したり反射する場所を避けてご使用ください。
- GPS衛星の位置は常に変化するため、使用する時間帯によってはGPSデータが取得できなかったり、データの取得に時間がかかることがあります。
- 携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものや、高圧電線など磁気を発生するものがある場合は、GPSデータを取得できない場合があります。
- 長期間使用しなかったり、最後にGPSデータを取得した場所から大きく距離が移動した場合は、GPSデータの取得に時間がかかることがあります。
- 病院内や飛行機の離着陸時など、電子機器の使用を禁止された場所では、必ずGPSをオフにしてください。
- お使いの国や地域によってはGPSの使用や位置情報を収集することなどが規制されている場合があります。海外旅行などで外国へ持ち込む場合は、GPS機能付きカメラの持ち込みやログの収集などについて制限がないか、事前に大使館や旅行代理店にご確認ください。
- 本機のGPS機能は、個人使用のデジタルカメラ用として開発・製造されたものです。航空機や車庫、人などの航法装置、また測量用としての使用はできません。これらの用途で使用したことにより損害が発生した場合の保証はご容赦ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows VistaおよびPhotosynthは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、OS X、QuickTime、iPhoneおよびApp Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Intel、Intel CoreはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C、LLCの商標です。
- Google、Google Play、Android、Google Earthは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの商標です。
- iOSの商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- Facebookは、Facebook, Inc.の登録商標です。
- Twitterは、Twitter, Inc.の登録商標です。
- Tumblrは、Tumblr, Inc.の登録商標です。
- この製品はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
- DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMIライセンスの商標または登録商標です。

- SILKYPIXは、株式会社市川ソフトウェアの登録商標です。
- その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

- 本製品は株式会社リコーがデザイン制作したりリコー RT Fontを使用しています。
 - 本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
- PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

HDMITM
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

SDTM
XC **I**

SILKYPIX[®]

DNGTM

AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
 - (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること
- 上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
- 詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件に基づき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

Tera Term
Copyright (C) 1994-1998 T. Teranishi
(C) 2004-2015 TeraTerm Project
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理いたしますので、お買い上げ店が使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口にご連絡ください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただくと原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中【ご購入後1年間】は、保証書【販売店印および購入年月日が記入されているもの】をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障
 - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
 - 火災・天災・地変等による故障
 - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等）による故障
 - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
 - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてはお客様のご負担とさせていただきます。
5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

フォトスクール・写真クラブのご案内 <http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/>

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧いただくか、ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

Pentax Ricoh Family Club

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局 TEL 03-3348-2945 FAX 03-3345-8076

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB (中地下1階) リコーイメージングスクエア新宿内
営業時間 10:30~18:30 (火・土・日・祝日および弊社特別休業日を除く)

リコーイメージングオンラインストア <http://store.ricoh-imaging.co.jp/>

製品はもちろん、純正アクセサリや各種オリジナルグッズを販売しています。

ショールーム・ギャラリーのご案内 <http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/>

リコーイメージングスクエア新宿 (修理受付可) TEL 03-3348-2941 FAX 03-3345-8076

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB (中地下1階)
営業時間 10:30~18:30 (毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く)

リコーイメージングスクエア銀座 TEL 03-3289-1521

東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター 9階
営業時間 11:00~19:00 (毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く)

リコーイメージングスクエア大阪 TEL 06-6271-7996 (代)

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

ユーザー登録のお願い

<https://login.ricoh-imaging.co.jp/customer/menu.aspx>

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。
付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。

お客様相談センター



ナビダイヤル 0570-001313

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0008 (代)

営業時間 9:00~17:30 (平日) 10:00~17:00 (土・日・祝日) (年末年始、ビル点検日を除く)

修理受付

修理受付センター／ピックアップリペアサービス申し込み



ナビダイヤル 0570-001301

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0014 (代)

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

※ ピックアップリペアサービスは、全国(離島など一部地域を除く)どこでも修理品梱包資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサービスです(全国一律料金)。インターネットからもお申し込みいただけます。

なお、弊社修理受け付け後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

修理受付窓口【宅配】【郵送】

TEL 03-3966-6121 FAX 03-3960-5158

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階 リコーイメージング株式会社 東京サービスセンター内

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

東京サービスセンター【窓口】

TEL 03-3960-5140 (代) FAX 03-3960-5147

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

大阪サービスセンター【窓口】【宅配】【郵送】

TEL 06-6271-7996 (代) FAX 06-6271-3612

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

リコーイメージング株式会社

〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6 (株) リコー大森事業所内

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

54687

R03DTG16

Printed in Philippines